



建築人

7

2012



建築人

7
2012

目次

2 4 17 20 27 28 30 34 40 42

大阪ホンマもん

建築人

安原三郎

第4回建築人賞入賞発表

Gallery 建築作品紹介

デザイン大阪オフィス

設計 鹿島建設関西支店建築設計部 施工 鹿島建設関西支店

児童養護施設生駒学園

設計 二井清治建築研究所 施工 金山工務店

レジデンスなさはら

設計 二井清治建築研究所 施工 安部工務店

報徳学園中学校・高等学校新校舎

設計 竹中工務店 施工 竹中工務店

Zepp Namba (Osaka)

設計 大林組大阪本店一級建築士事務所 施工 大林組

南海和歌山大学前駅

設計 全日本コンサルタント

施工 銭高組・南海辰村建設・浅沼組共同企業体

記憶の建築 松隈洋

弘前市斎場 1983年 風土に学んだ前川國男の到達点

匠の巧

緑化 株式会社大林環境技術研究所

ひろば

『通天閣と新世界』百周年の魅力

テクノロジー 本多友常

橋本市立高野口小学校―築75年木造平屋小学校改修・改築の辿った道―

インフォメーション・事業案内・通常総会議事録(要約)

理事会報告 建築相談 編集後記

社会から必須とされる建築士会を目指す
「建築士会は社会に何ができるか」

(社)大阪府建築士会会長 岡本森廣

柳川前会長からバトンを受け、六月から会長に就任致しました。私は、社会から必要とされる建築士会の実現を強く願っています。来年の公益法人化は、その第一歩です。その一方、財政は創設以来の危機的状況に直面し、団塊世代のリタイア、景況感の悪化等によって会員数が著しく減少しています。会の存続をかけて、組織のスリム化を図るため、委員会・研究会・ワーキング等の見直しを進めます。

さて、建築士の業務は、縮小傾向にあると言われています。確かに住宅ストックは、既に世帯数を一五%も超過しています。しかし、建築士の活躍できるフィールドは、確実に変容しつつも拡大しています。例えば、建物の長寿命化のための維持・管理、耐震診断・補強工事の設計監理、建物資産の評価、訴訟・調停での専門的助言・支援、エネルギーを意識した建築等が挙げられます。進歩する技術や社会要求、多様な業態に対応できるように、CPDも今まで以上に充実させることが必要です。

六十年に及ぶ士会活動の基本である社会貢献については、公益法人化により一層深化させます。建築相談や地域に根差したまちづくり活動、自治体等への委員の派遣、国際交流、自治体からの受託事業への対応も建築士会の根幹をなすものです。将来ビジョンに係る検討を進めてまいりますので、会員の皆様の前向きなご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

大阪ホンマもん解説

写真 田籠哲也 文 牧野高尚

大阪南部の玄関口である天王寺駅の西側には緑豊かな天王寺公園と動物園が広がり、その先に新世界通天閣がある。現在の通天閣は二代目で一九五六年(昭和三二年)に完成。設計は東京タワーなども手掛けた内藤多仲氏で、施工は奥村組。国の登録有形文化財に指定されている。

明治四五年(一九一二年)に初代通天閣及びルナパークが開業し、一大歓楽街として栄えた。しかし開業一一年でルナパークが閉園。その後、開戦を迎える。

通天閣は火災により足元を損傷。最後は戦時中の金属類回収令により解体。界限も戦火により壊滅的打撃を受けた。その後、戦後復興を遂げるおり、地元有志らにより再建話が持ち上がり、現在の二代目通天閣がようやく完成した。

テレビや映画でもおなじみの新世界通天閣。大阪を代表する顔であり、戦後の大阪を見続けてきた歴史と文化の象徴として、これからも大切にすべき存在だ。

建築人 7

2012

監修 社団法人大阪府建築士会 建築情報委員会

編集 建築情報委員会『建築人』編集部

編集人代表 米井 寛

編集人 荒木公樹 河合哲夫

曾我部千鶴美 筑波幸一郎

中間伸和 橋本頼幸

牧野高尚

事務局 山本茂樹 母倉政美

印刷 中和印刷紙器株式会社

安原二郎



建築そのものではなく、建築に関わる人に焦点をあて掲載する「建築人（けんちくびと）」。人のもつ魅力は、職域を越えても理解しあえると考えます。創作の源泉や姿勢、人生哲学、ライフスタイルなどを垣間見ること、共感できる気づきを得ることを期待しています。

今回の建築人は建築家・安原二郎さん。住宅や店舗など、幅広くかつ柔軟に作品をつくり続けられています。修行時代のエピソードや自身の作品論などを通して、建築に向かう思いや姿勢などをうかがいました。

kenchiku-bito

やすはらさぶろう

1946年京都府生まれ

1964年京都市立伏見工業高校建築科卒業

1964年赤松・菅野建築設計事務所

1967年独学（古建築を巡る）

1969年美建・設計事務所

1975年安原三郎建築設計事務所設立

日本サインデザイン協会SDA賞、松下ライティングコンテスト、商環境賞他を受賞

撮影：田籠哲也

美建入所へのきっかけ

荒木 今日、住宅と店舗という二本の柱を持っておられる安原さんに、その二つを偏りなく取り組む姿勢や作品の原点などをお聞きしたいと考えています。

森本 安原さんは、赤松・菅野建築設計事務所の後に石井修先生の主宰されていた美建・設計事務所（以下美建）に入所されていますが、何かきっかけがあったのでしょうか？

安原 知り合いの建築家に大阪で斜線や幾何学的なパターンを用いてプランニングをしている面白い事務所があると教えて頂いたのが、石井先生の美建でした。後日、雇って欲しいとお願ひに行ったのですが、事務所が一杯で席がないとの理由で断られ、仕方なくその日は帰りました。それから数日後に、もう一度お願いに行きました。前回同様に断られたのですが、今度は「設計室を見せてください」と食いついたんです。

荒木 当時、美建にはスタッフが何人くらいおられたのですか？

安原 六名くらいでしたね。事務所には、その六名分の机が一行に並んでいて、空席はありません。そこで、前から順に少しずつ詰めてもらい、一番後ろの石井先生の席も少し詰め、机の入るスペースが

確保できることをアピールし、入所させていただきました。その時代の就職活動は大抵がそんな状況で、友人も寝袋持参で設計事務所へ押しかけていました。横内敏人さんも、前川國男さんの事務所に入る際それと似たようなことがあったと仰っていました。昔は、みんな根性がありましたね。

石との出会い

中澤 美建で安原さんは、どのような作品を担当されたのでしょうか？

安原 「石壁の家」や「天と地の家」、「豊国ガスステーション」などです。

森本 以前「石壁の家」の外観を通りかかりに拝見しました。とても一九七四年に竣工した作品とは思えないくらい状態がよかったので驚きました。計画にあたっては、あの場所をどう読まれたのでしょうか？

安原 冬場の六甲おろしを遮るために北側と東側を壁で閉鎖しようというのがまず始まりだったと記憶しています。敷地が六甲山麓だったので掘ればきつと御影石が出てくるからそれを利用しようと石井先生は考えられました。和泉正敏さん（注1）の石積みがイメージに近かったようで、私が連絡船に乗り高松まで話を

聞きに行くことになりました。その時にイサム・ノグチ（注2）さんも来られていて、建築家の卵だと紹介していただきました。夜には「イサム家」でレコードを聴きながらウイスキーをいただき、まるで夢のような時間を過ごしました。

木下 「石壁の家」の石積みは、中も外も全て和泉さんの手によるものですか？

安原 そうです。後日、石井先生と二人で和泉さんの元を訪ね、作例として山本忠司（注3）さん設計の「瀬戸内海歴史民俗資料館」を案内していただきました。和泉さんによる石積みを直接見て感激しましたね。その日以来、石は好きな素材の一つになりました。

木下 「石壁の家」では、その壁の上に木造の梁がリズムよく並び、そこに屋根が軽く架かっているのが道路側からは非常に綺麗に見えますね。

安原 屋根の架け方では石井先生と意見が異なりましたが、今から思うとその見えがかりを考慮されたんだと思います。

森本 石壁もセットバックして造られていて、写真とは違い威圧感がなかったですね。

安原 石井先生は必ず通りに緑を提供しようというコンセプトがあり、その上で建物の位置が決まります。だから威圧感

がないのだと思いますね。

あるべき姿の追求

中澤 「天と地の家」でも多くの緑を街に提供されていますね。

安原 施主からの要望は、当初、木造二階建てでローコストというものでした。石井先生は、最初に周辺環境に対してどのような土地や建物の在り方が相応しいかという発想で計画されます。だからこの時も、雑壇造成地での在り方を探られ、発想されました。「安原君、自然の傾斜地だったら木造も良いけど、ここはRC造で地下にしよう！」と。初めて基本案から担当させてもらえた案件だったので嬉しかったですね。他の所員たちに残業代目当てだと思われるのがいやで、別れる梅田まで一緒に帰り、その後事務所に戻って計画に没頭していました。

中澤 計画案を見た施主の反応はどうでしたか？

安原 数か月後、打ち合わせのために事務所へやってきた施主は、テーブルの上においてあった模型を見て、「面白そうな家ですね。どこの家ですか？」と…。

それがまさか自分たちの家だとは思わなかったようで、石井先生から説明を受け、驚かれていました。「あの場所で木造は



上段 石壁の家(1974年/石井修設計)
中段 香川県・牟礼でのイサム・ノグチ
下段 瀬戸内海歴史民俗資料館
撮影 多比良敏夫
上段 (提供:石井智子美建築設計事務所)

(注1)彫刻家・1938年香川県生まれ イサム・ノグチ氏と出会い、現代的な石彫制作の道を歩み始め、イサム・ノグチの彫像作品制作のパートナーとなった。代表作に「黒い太陽(Black Sun)」(注2)1904～1989年 20世紀を代表する彫刻家。1956年 初めて庵治石の産地である香川県牟礼町を訪れる 1969年牟礼町にアトリエと住居(イサム家)を構え、以降20余年の間、和泉正敏をパートナーに制作に励んだ(注3)1923～1998年 建築家 香川県出身 京都工業専門学校(現京都工芸繊維大学)卒業 ヘルシンキ五輪の三段跳び選手でもあった「瀬戸内海歴史民俗資料館」(香川県高松市)は1973年完成 香川県建築課所属時代に設計を手がけた 1974年度日本建築学会賞受賞



上段 あじびる（1976年／石井修設計）
中段 御蔵山の家（1966年／吉村順三設計）
下段 竹中工業所分室（1982年／石井修設計）
撮影 上段 多比良敏夫（提供：石井智子美建築設計事務所）
中段 木下 光
下段 牧野高尚

（注4）1908～1997年 建築家 東京都出身 東京美術学校（現東京芸術大学）卒業 代表作に「軽井沢の山荘（吉村山荘）」（1962年）
（注5）建築家 2009年2月号

駄目です。木造を望まれるのでしたら、他の土地を買って下さい」と。石井先生がすごいのは、決して饒舌に話される訳ではないのですが、説得力があることです。その時も施主は模型を持って帰られ、後日「これでやってください」と依頼に來られました。

中澤 思いが伝わったんですね。

安原 そうですね。京都河原町の「あじびる」の時も、四階建てという要望に対して、あの場所なら九階建てにしないとだめだと提案されました。当然予算的に無理だったのですが、一年後にお金を用意して依頼に來られたのです。石井先生の頭の中には、それぞれの場所に相応しい建築のあり方が見えていて、それを実現させる強い信念がありましたね。本当にスケールの大きい人でした。

吉村順三との接点

森本 吉村順三（注4）先生が設計された作品の工事監理を美建でされていたよね。

安原 最初は谷町の「アメリカカーナビル」で、その次が「御蔵山の家」です。「御蔵山の家」は担当させていただきました。増築が二度行われ、美建で設計を行っています。一度目は、元の建物の横にRC

全体的には環境に寄与しているんです」と。

荒木 法律のそもそもの意図というか、大局を理解した上で、話を持って行かれるわけですね。

安原 そうです。それが私に乗り移りましてね、自然素材の使用について消防署とは何度もやり合っていました（笑）。とにかく仕事に対して妥協のない人でした。パースを描いていて、怒られたこともありました。私は経費節減のためと思ったのですが、パースの専門家よりも上手く描けないのだから、それはプロに任せて、その分設計に集中することを求められました。

森本 石井先生の作品集を見ると、クレジットのところに、安原さんの名前が併記されている作品もあります。

安原 ええ。僕が初めて担当者として名前を出して頂けたのです。札幌や仙台など遠方の仕事には、必ず私を連れて行ってくれました。それで、二人で夜のまちへ出かけて、おいしいところを一時間以上かけて探すんです。「建築家っていうのは、おいしいところを一目見て判別できないとだめだ。」というのがいつものセリフだね。お酒もかなり飲まれました。

造の平屋で増築し、二度目は、その上に木造で造りました。完成写真を持って吉村先生に報告に行った時「僕がやったみたいだ」と言ってもらったことが嬉しかったですね。

木下 資料では一九六六年に竣工。一度目の増築が七一年、二度目が八二年ですね。

安原 増築前は、小さなユニットの小住宅でした。

荒木 間仕切り壁も二四ミリのベニヤ板一枚で、極限まで考えられています。行き着くところまで行っていたということですね。

安原 あれば、余分なものを削ぎ落として、残ったもので成り立っているようなものですね。スラブの厚みも究極です。計算をして最低限の鉄筋量で造っています。あの当時、吉村先生は建売の価格帯でコンクリート住宅ができることをテーマの一つにされていたからね。

新しい手法にこだわる

木下 安原さんが美建に所属しておられたのは、何年から何年までになるんですか？

安原 一九六九年から七五年の五年ですね。そのあと、数年は引き継ぎとして

森本 仕事以外の時間を一緒に過ごすことで教わるものがあったのでしょうか。

安原 そうですね。結果として考えてみると仕事のスタンスとか、いろんな意味で影響を受けました。あの当時一番嘆いておられたのが、山林を伐採するゴルフ場開発と宅地造成でした。ゴルフ場を見ればいつも嘆いていましたね。「安原君、ゴルフ場は、山林を伐採しているから、土地の血液が出ている。どうしようもないから緑の包帯で巻いているんだよ。芝生は緑の包帯なんだよ。」とおっしゃっていました。だから芝生はあんまり好きじゃなかったですね。

目神山への助走

木下 私は「石壁の家」や「天と地の家」があったから、一連の目神山の家が生まれたのではないかと考えていて、それを確かめるべく安原さんにお会いすることを楽しみにしていました。今日お話しをお聞きして、石井先生の作品の中で、目神山以外の重要な作品に安原さんが多くお関わりになっておられるのに気づかされました。そして、それらのエッセンスが目神山で花開いているのではないかと感じました。

安原 私が美建にいたころはまだそうい

行っていました。作品では、「竹中工業所」あたりまで行ったり来たりしてましたね。

木下 門扉や藤棚に至る細部まで石井先生はデザインされていますね。建築家の表紙企画（注5）では写真の数も限られていますから、ちよっと大きなスケールの話ばかりを取り上げていますが非常に肌理細やかな建築でした。とにかく作業場の光の入りがとても気持ち良いですよ。図面を引く仕事をする人の感覚というのが、丁寧にトレースされていると思いました。なくなったと聞き、すごく残念に思います。

森本 図面を見せていただくと、平面図よりも断面図が美しいですね。

安原 これは仕事が大変でした。ボイドスラブにテンションをかけてスパンを飛ばしているのです。最初は一〇センチくらい床の中央でたわんでいたものが、毎日テンションを少しずつかけ、最終的には一センチくらい反対にふくらませて終えました。やったことがないディテールだから大変でしたね。

森本 美建では、構造計画はどのように進められていたのでしょうか？

安原 石井先生は、いつも何かにチャレンジしようとしていました。構造は、

う意味では開花してなかったと思うんですよ。そのあと目神山のあたりから、石井先生が一気に開花していった感じですね。

木下 目神山という厳しい敷地条件下で、それまでの作品での経験が活かされたというでしょうか。例えば、「豊国ガステーション」や「天と地の家」の屋上緑化、「石壁の家」での石という素材の扱い方、様々なコンクリートの使い方など、種々の実験的手法やディテールが美建には蓄えられていた結果だと思っています。当然、石井先生の確固たる信念ともいえるコンセプトがあつてことですが、その中心に石井先生の右腕として安原さんがおられたことも理解できました。

安原 有難いことにそのように言ってもらった方がいらっしやいますね。

森本 安原さんの在席された時期が目神山への助走の時間だったということですね。

風景と現代生活「秦町の薨」・「斜庭の家」
荒木 安原さんの作品の中で個人的に一番気になっているのが、寝屋川の「秦町の薨」です。あれだけ大らかな屋根があつて、その下に現代的な住空間が広がっている住宅はあまりないと思います。

非常に重要で、構造事務所にいつも設計の初期段階から相談されていましたね。しかし、骨格の部分は、石井先生が押さえておられました。また、思ったものがつくれなかったから壊したというエピソードがあるくらい、工務店時代から施工者というより設計者だったと聞いたことがあります。押し通す、曲げない姿勢は、本当に建築家でした。

木下 美建からは、素材や方向性が全く異なる作品が生み出されています。一つの事務所から出てきた作品とは思えないくらい、バリエーションがありますね。

石井修との思い出

安原 石井先生との思い出のひとつに行政協議があります。風致地区に計画する住宅で、壁面後退のルールに納得いかず、境界から二m壁面を後退する理由を役所の人に問うわけです。「あなたは、セツトバックをする意味がわかりますか。環境を良くするためでしょう。わたしのデザインは、セツトバックをしなくても、

安原 周辺にはお寺などがあり、一区画が比較的大きい場所です。坂道に対して石積みや門や蔵などがあり、奈良地方によくある「囲い造り」のような建物が点在しています。建て替えられて風景としては残念な住宅が一部ありますが、近辺の住宅はほとんどが瓦葺きです。私は最近、特に「風景としての家」というとらえ方をしようと思っています。今回も周辺環境を見たときにやはり薨の波をつくりたいということが基本にありましたね。もちろん内部は現代的な空間を計画しました。

木下 瓦という素材をどのようにみられていますか。

安原 とにかく最近の瓦は均質ですね。日本のほとんどの人が均質でないと気が済まないようですね、困ったものです。僕はいつも不均質なものが好きなので、自然素材を使うんですが。最近、デザインをしたのかどうかかわからない、住んでみてその良さがわかるような、そして一つの風景になるような建築を目指しています。だから、過去に自分が設計した店舗であっても、行くのは嫌ですね。デザインをしすぎていますので。ただ、風景に馴染む家といっても、現在の壊れた風景の中で、どうすればいいのかと、今

上段 秦町の薨（2011年／安原三郎設計）
中段 斜庭の家（2002年／安原三郎設計）
下段 インタビュー風景
撮影 上段 上田宏 下段 田籬哲也



思案しています。住宅の場合は一軒でもいいから、何か発信していきたいという気持ちで設計に取り組んでいるのです。

森本 そういった意味では東京にある「斜庭の家」は、まさしく風景が壊された中での敷地条件だったと思いますが。安原 そうですね、周辺はマンションが建ち並び、ある程度土地の広さがある地域ですが、寒々とした風景が広がっていました。それで、施主が花屋さんでもあるし、ちょっと思い切ったデザインしてくれということで、草屋根としました。この一角だけが、別世界のようですよ。『住宅建築』に掲載されている六本木ヒルズが遠景に入ったカットを撮影してくださったのは、写真家の大橋富夫さんです。設計意図を説明しなくも「このアングルがポイントでしょう」と理解してくれていて、嬉しかったですね。

境界について
河野 住宅と庭、さらには街との関係についてお聞かせください。

安原 『秦町の薨』では思い切ってリビングと庭をつなごうという意識でやりました。しかしながら、いつもは建築空間と庭とをあまり融合させないで過ごすように使われていると思うのですが、そのあたりを詳しくお話ください。

安原 実は、単一素材でやるのは意外と楽なんです。また単一素材の空間というのはものすごい魅力があるんですね。石で言えば「ル・トロネ修道院」、木で言えば吉村順三先生の「軽井沢の山荘」もそうです。単一素材が良いのはわかるのですが、僕はやっぱりいろんな素材を使って、それらでシンフォニーを奏でたい。いつも心がけているのが、最終的にはそれぞれの素材が謳わず、音楽でいえないような素材が一つのハーモニーになっている様です。

森本 そう思い始めるきっかけはあったのでしょうか？

安原 やはりイサム・ノグチです。「エナジーヴォイド」を、四〇年ほど前に見たとき、それが私の出発点みたいなものです。あれは一つのフォルムとしての彫刻ですけども、私は素材という見方をしました。磨きこまれた一つの石。それと、その背景にある、古い米蔵やふるびた木や土壁。イサム・ノグチの彫刻がすごいと思うのと同時に、全体の構成、雰囲気を感じました。イサム・ノグチがおそらくその場所を氣にいったからこそ、作品を置いたんだと思います。



と意識しています。自立した空間が、環境に合ったボリューム・素材でつくられていけば、内部は自由にしたらいいのではないかという想いです。それは吉村順三先生がよくおっしゃっていたんですよ。「外観はもう普通でいいんだよ。その環境や地域になじむ外観であればいいんじゃないの」と。庭のあり様で言えば、どこまで空地を残すかというのを目指していますけどね。

荒木 具体的にどのようなものでしょう。安原 緑を植えるのだったら、周辺環境に寄与する部分を常にくとろうと思っています。ネガとポジの関係じゃないですけれど、ある意味で庭を先行させながら、プランニングしていますね。一言でいうと風景としての家づくりと庭づくり、それらがその土地の風景さらには風土とながればと。

木下 敷地境界線というか権利関係がそのまま形に現れないように、いかに建物以外の空間を扱うかというのが建築家にしかできない技だと思うのですが、それがあまりに露骨に立ち上がっているのが今の状況ですね。

安原 私が不思議で仕方がないのが、図面に敷地境界線と書くことです。現場に木下 私も好きで何度も訪れています。が、今の位置と変わらないあのレイアウトで置かれていたのですね。

安原 そうです。入口のドアを開けると光がぱつと入ってきますね。あの瞬間の光の陰影を住宅空間にも持つていけないかと日々思っているのです。様々な素材を使って住宅や店舗をやっているけれど、あの域まではなかなかいけなくて…。だからあれが一番衝撃的でした。

店舗設計 素材 について
北 京都高島屋のレストラン街（ダイニングガーデン京回廊）を見学させてもらいました。共用部と店舗部の統一感に驚きました。

安原 わたしは共用部分とテナントの一つである「たん熊」というお店を設計しました。今から思うと失礼な話ですが、各店舗のデザイナー全員にこの事務所へ来てもらい、デザインを修正して頂きました。わたしは大阪の天満のような界隈性が好きなので、ビルの中の画一的なレストラン街が嫌なのです。いろんな店舗の集合体としてとらえたら、画一的な計画には、ならないと思うのです。ほとんど私の意図通りに修正してもらったファサードもあり、「壁はここまでにして上



行っても線なんて無いでしょ。だから、私の配置図は敷地境界で止めているんですよ。本当はその辺は曖昧でいいと思うのですけどね。

緑の斜面

中澤 事前にいただいた資料で安原さんが、原風景として琵琶湖第二疎水と吉田山を挙げられています。どんな風景だったのでしょうか？

安原 吉田山は、小さい時にとにかくよく遊んだところです。スロープがあり、緩やかな階段があり、起伏に富んだ地形で、魅力的なんですね、子供にとって。石畳とか、使っている素材は基本的に石が多く、ランドスケープと建物の関係性が非常に良いんですよ。全体の風景としてすごく馴染んでいて、独特の雰囲気醸し出している。忘れられない場所ですね。

中澤 「斜庭の家」の立体的な構成は、その風景が反映されているのでしょうか。

安原 そうですね。ガレージから路地を通って玄関に入り、そこからも上階にあることのできるような立体的な庭の構成が好ましいと思うは、吉田山の影響があるのかなと思っています。それと、

をガラスにして下さい」と図面やスケッチ、パースを描いて示しました。各店舗の設計者は嫌がっていましたね。

中澤 店舗の設計はどのような経緯で始められたのですか。

安原 店舗は、本当は嫌だったんです。「人のつくった空間の中に、なんでおれが…」という気持ちがずっとあったのですけどね。何店舗かやって、喜びがそれなり出てきて…。お客さん入って繁盛すると自分がやった空間をみなさんが認めてくれたりする。住宅とはまた違う魅力に気づきました。

森本 住宅は施主と建築家の一対一の関係ですが、店舗は違いますよね。

木下 パブリックですね。

安原 空間で意識しているのは、とにかくスケルトンにすること。その上でどこに主な空間をとって、個室等をどう絡めていくかっていうのを想定していきま

す。それは私が建築家だからできるんでしょうね。与えられた天井高さに計画するのではなく、スラブ下いっぱいまで空間をとったり、天井高を一九五〇ミリぐらいまで落とし、そこにエアコンを納めたりしています。

中澤 テナントではない店舗も手がけられているのですか？



上段 琵琶湖第2疎水（哲学の道）
中段 吉田山の風景
下段 安原氏の事務所風景
撮影 森本雅史
中段 森本雅史
下段 田籠哲也

家の近くのグラウンドに疎水の土手があるのですが、その土手がやたらに今でも夢に出てくるのです。だからこの斜め庭という土手がものすごく好きなんです。中澤 向こう側が少し高くなって視線が抜けないというような。

安原 はい、ちょっと傾斜がある場所が好きですね。寝転んでもいいし、斜面になっっているから緑も目にも飛び込ん

で、とても綺麗でした。

安原 あの建物は、解体されたそうですね。

木下 こんなガソリンスタンドは、他にありません。圧倒的なオリジナリティーがあり、もう二度と造れないと思います。

安原 こういう建物が、未永く残って欲しいのですけどね。

木下 コンビニとしての利用でも良いから残して欲しかったです。あの斜面で弁当を食べたら、きつと気持ちいいと思います。

素材・対比

森本 安原さんは「対比」という言葉を

安原 ほとんど、ないんですよ。いつか建築からやりたいと思い、その機会を待っています。

中澤 建築と店舗が融合した、立体的な面白いものができそうですね。

仕事の進め方

荒木 この事務所の音がいいですよ。静寂の中に三角定規やスケールを置いたり、羽根筆を使う音が聞こえてきます。確かなものをつくっている現場の音だと感じます。

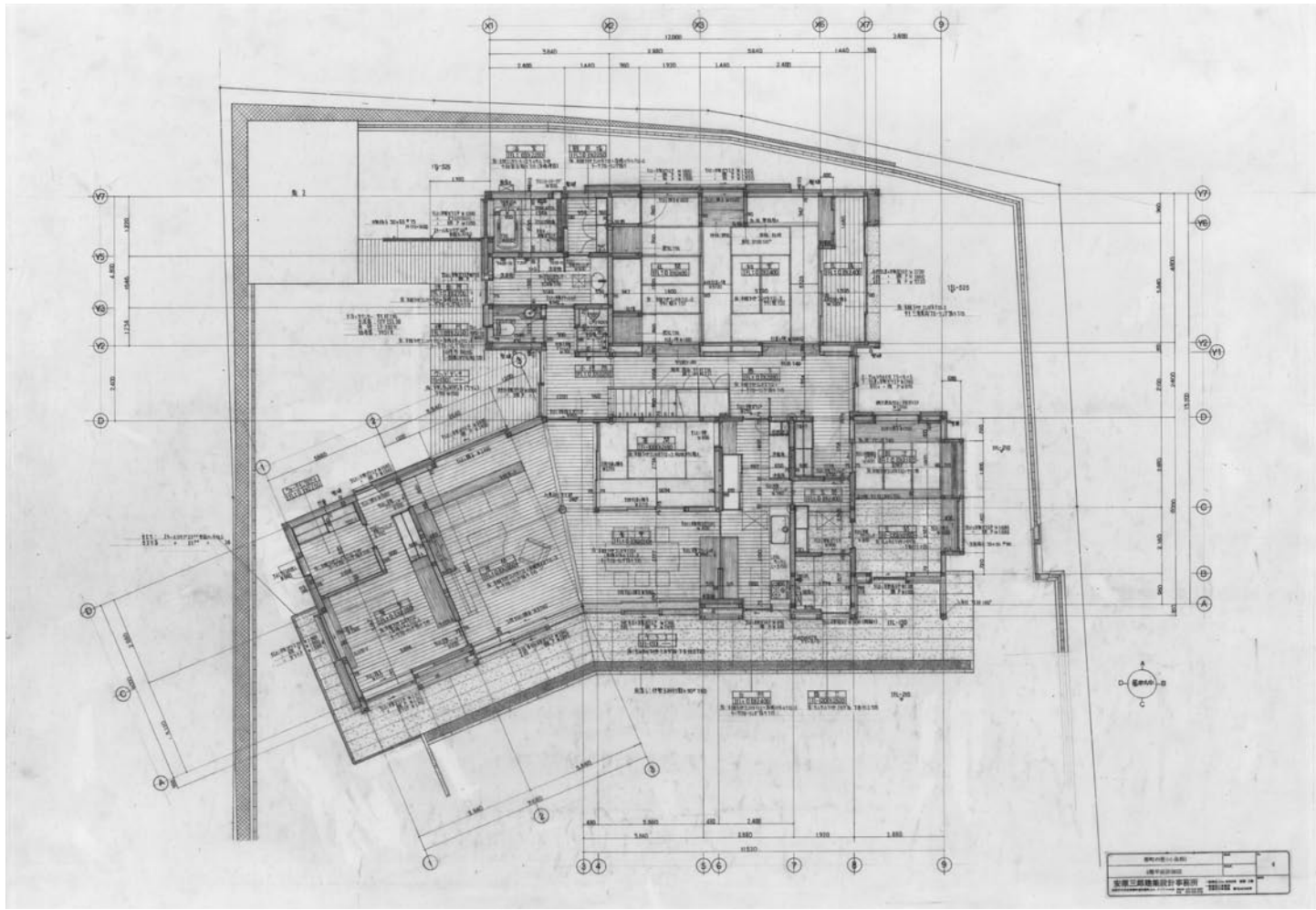
安原 私の事務所では今でも平行定規を使って手描きの図面を描いています。若い頃に描いた図面を見ていて、樹木をかいている時が楽しかったことを今思い出しました。手描きには、描く喜びがありますね。

荒木 一軒の住宅でどのくらいの枚数を描かれるのですか？

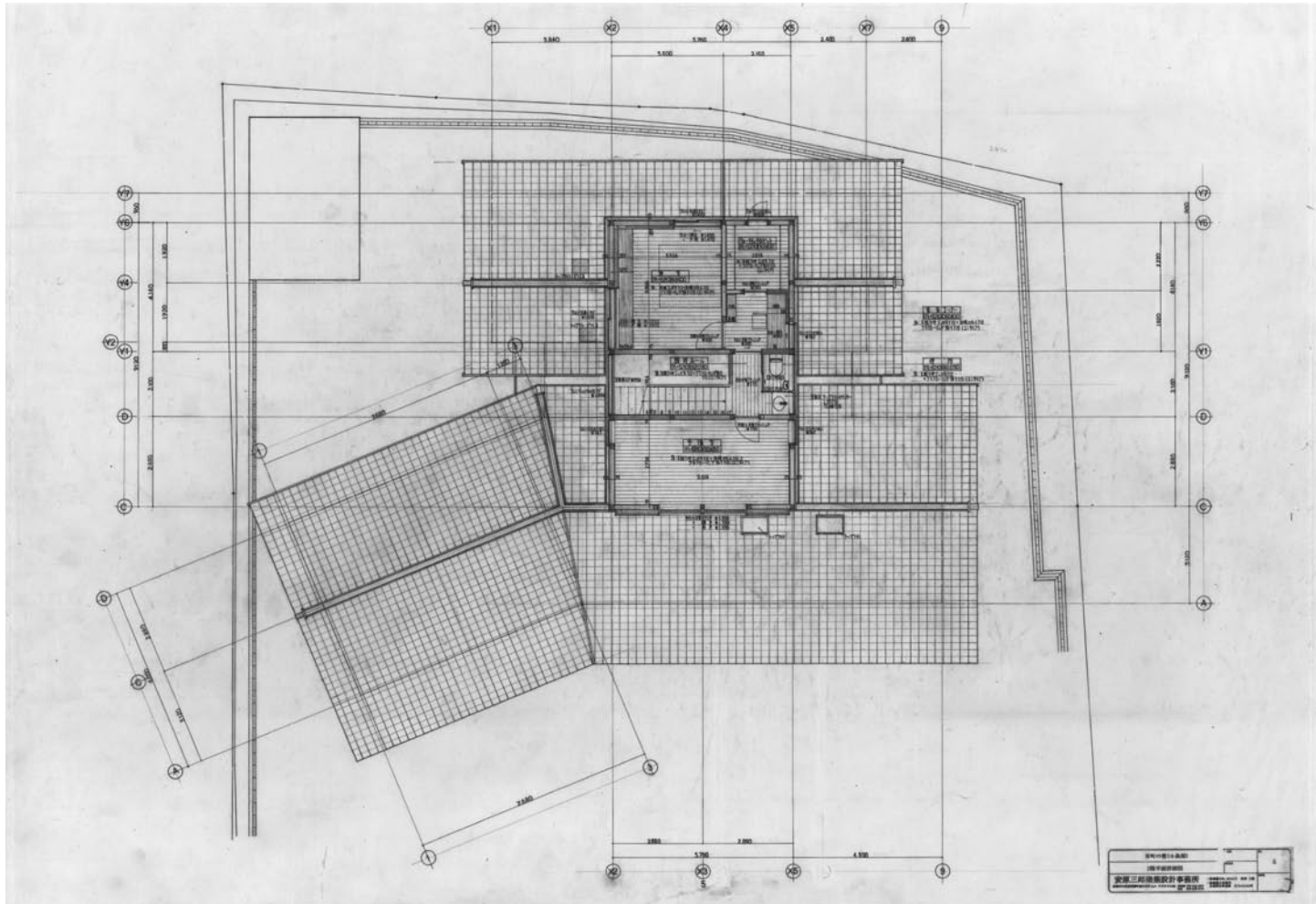
安原 だいたい、最低で施工図を五、六〇枚描きます。家具や暖炉まで描くのですよ。なぜか、年々図面枚数が増えてきていますね。限られた予算や時間の中で、精一杯の努力をして質の良いものを造りたいというのが最近、日に日に増しているんです。だから現場での食い違いやミスはほとんどないですね。現場での打



上段 ル・トロネ修道院（13世紀）
中段 京都高島屋ダイニングガーデン京回廊（2006年／安原三郎設計）
下段 エナジー・ヴォイド（イサム・ノグチ作）
撮影 上段 荒木公樹

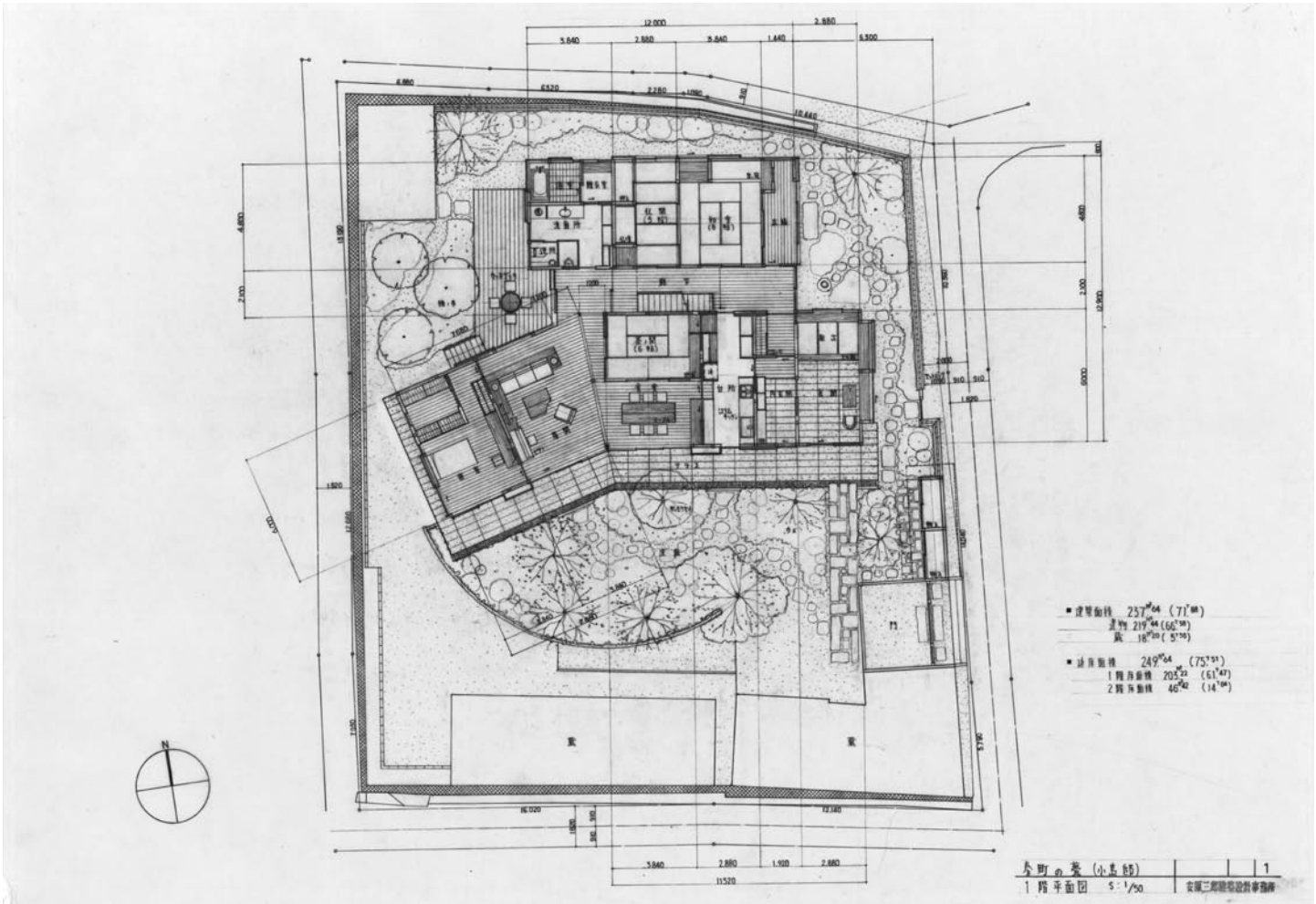


「秦町の葵」1階平面図



「秦町の葵」2階平面図

次頁「秦町の葵」居間より庭を見る（撮影：松村芳治）



「秦町の葵」配置図

聞き手
木下 光
関西大学環境都市工学部建築学科
准教授 博士(工学)
1968年 福岡県生まれ
1992年 京都大学工学部建築学科卒業
1996年 東京大学大学院工学系研
究科都市工学専攻博士課程中退
2005年 日本建築学会論文奨励賞
市場と公共空間、屋並と瓦、敷地計
画と都市住宅等に関して研究
共著に「アジア建築研究」(INAX出
版)、「建築MAP京都」、「建築MAP
大阪／神戸」(TOTO出版)等。

中澤 博史
1969年 大阪府生まれ
1992年 近畿大学理工学部建築学科卒
1992年 株式会社大建設計
1998年 中澤建築設計事務所設立

森本 雅史
1974年 三重県生まれ
1998年 京都工芸繊維大学大学院
(博士課程前期)修了
1998年 株式会社東畑建築事務所
2009年 森本雅史建築事務所設立
近畿大学工業高等専門学校 非常勤講師

北 聖志
1976年 大阪府生まれ
2001年 神戸大学大学院(博士課程前期)修了
2001年 二井清治建築研究所
2007年 THINK一級建築士事務所設立

河野 学
1979年 大阪府生まれ
2008年 大阪大学大学院(博士後期課程)修了
2008年 大阪大学大学院特任研究員
2009年 大阪府立工業高等専門学校講師

テープ起こし：松本和也・寺田千尋
(関西大学木下研究室)

本特集責任編集人
荒木 公樹
1971年 大阪府生まれ
1995年 神戸大学工学部建築学科卒
1995年 建築環境研究所
2003年 空間計画設立

合せの必要がないくらいなのですが、好
きだから行ってしまいます。(笑)

荒木 店舗設計も手描きでやられている
のですか？ 店舗設計は、とても時間が
タイトなイメージがあるのですが…。

安原 そうそう、タイトですよ。だから
高島屋の場合、発想したのは数時間。だ
いたい大型店舗でも建物を見て、事務所
に戻って二〜三時間あればプランニング
が終わります。住宅の場合でも、一番早
かったもので一週間で、模型まで作った
ものもありましたね。

中澤 早いですね。

安原 その時は、敷地が周囲より一段上
がっていたので、平屋が良いと思ったん
です。強い信念をもっていたら、施主
に説明するのもすごい説得力があったの
だと思います。そのままの案が採用され
ました。

中澤 先程の石井先生の話に似ています
ね。

安原 そうですね。実は、今日話してい
るうちに、石井先生がやっていたことを、
ほとんど自分もしていることに気づかさ
れ、途中から変な感じになってきてい
るんです。

森本 話しながらだんだん思い出してく
るのでしょうかね。

安原 「建築家はしゃべるものではな
い、建築は語るものだ」そんな石井先生
の姿勢を引き継いだわけではないです
が、今まで自身の活動について語ってき
ませんでした。ところが最近学生に教え
るようになって、若い人たちに伝えるこ
とが私にもあることに気付いたのです。

今回のインタビューもそのような経験が
あったのでお受けしました。
荒木 時代の息吹を感じることができた
貴重なお話しだったと思います。本日は
ありがとうございました。



「建築人賞」の趣旨と目的

大阪府建築士会の会報誌「建築人」は1964年より毎月刊行され、2012年4月号で574号目の発刊となりました。会員に向けて情報提供を行うとともに作品発表の場を設け、建築にかかると技術及び文化の普及・発展に寄与することを目的としてきました。

「建築人賞」は2009年(平成21年)に創設され、今年で第4回目を迎えました。「建築人」の「Gallery」に掲載された作品を審査対象とし、それらの中から特に社会・芸術・文化・技術面で優れた作品を顕彰することを目的としています。審査については、日本を代表する数々の建築雑誌の編集に携われてきた石堂威氏に第1回目より審査委員長を務めていただいています。審査対象は建築地や建築種別を問わず、大阪府建築士会の会員のみならず、近畿全域で活動する建築士に応募の門戸を広げています。

石堂氏が今年度の審査総評で触れられている通り、「建築人」には大阪さらには近畿地区が担うべき文化の伝統を伝える役割があります。「建築人賞」が建築士の登竜門となり、建築文化の発展に寄与し、大阪・近畿から全国へ発信する役割を担い続けられるよう、「建築人」の編集に関わる私たちはこれからも引き続き努めてまいります。

建築人編集人代表 米井寛



審査委員長 石堂 威

1942年 台北市生まれ
1964年 早稲田大学第一理工学部建築学科卒業
株式会社新建築社入社
1980年～ 「新建築」編集長(1991年まで)
1985年～ 「住宅特集」創刊編集長(1987年まで)
1992年～ 「GA JAPAN」創刊編集長(1995年まで)
1996年～ 都市建築編集研究所 設立 代表
2008年～ 第1回から現在まで建築人賞審査委員長

審査総評

建築人賞審査委員長 石堂 威

未曾有の3・11から一年以上が過ぎました。地震の解明が進み、近い将来、東海・東南海・南海の連動型地震の可能性が高いと指摘され、それによる長周期地震動への対策も講じる必要があることがわかってきました。地震・津波・原発事故による被災地の復興の問題はまだまだ深刻な状況にあります。将来に向けての対策も急がれています。建築物の設計、施工、維持管理に関わる建築人はいっそうの情報収集、技術の習得に励むことが望まれています。

四回目を迎えた建築人賞に審査員として関わってきた少し気付いたことがあります。「建築人」は、市販の全国版の雑誌とは違って大阪府地区の会誌として建築作品を募り、その中から賞を定めることをしてきています。大阪府地区に設計の拠点はあっても、しかし応募作品は近県に散在して近畿一円を圏内に置き、さらにその周囲にも応募の作品を持っています。その状況は東京でも同じかと思いますが、はっきりと異なる点があります。東京都地区の会誌はそれなりの独自性をもってはいても全国版の存在にかすんでしまいがちです。「建築人」は、やはり商都大阪の歴史を持ち、

文化が違います。文化という面でいえば、北海道、東北、北陸、九州など、それぞれ雰囲気の違いが違って貴重です。つまり「建築人」には全国版が持ち得ない役割、地区版が担うべき文化の伝統を伝える役割があるということです。

さて今回の審査ですが、第一次審査では一般の部が粒ぞろいではなく建築人賞を決められずにいたところ、現地審査後に判断してもよいといわれ、現地審査で決定しました。住宅の部は第一次審査で決定後、確認のために現地を訪れました。現地審査で思ったことは、建築家の敷地に対するこだわり、敷地からの発想を何よりも大切にしていたことでした。敷地は風土を構成するものの一部で、文化を担う重要な要素の一部でもあります。敷地という特定の場所、何を建築家が考えるか、その一つ一つの試みの積み重ねがいずれ文化へとつながります。

一般の部・建築人賞の「神戸国際中学校・高等学校 河野記念アルモニホール」はこの点で興味深いものでした。中高女子一貫校としては異例とも思えるコンクリート打放しを基調としたキャンパスで、その奥の一隅に計画された体育館が今回の対象です。コンクリート打放しは組織の先輩が選んだデザイン・コンセプトであり、風化せずに

第4回 建築人賞発表

主催・・・社団法人 大阪府建築士会
後援・・・社団法人 大阪府建築士事務所協会

安原三郎作品年譜

1974	浄土寺の家【京都市左京区】	1996	比叡平の家【滋賀県大津市】	2003	大槻さんの家【京都市山科区】
1975	御影の家【神戸市東灘区】		かつくら新宿高島屋【東京都新宿区】		樂待庵【大阪市中央区】
	住宅建築 1978.07		かつくら寺町【京都市中京区】		商店建築 2004.08
	塔南の家【京都市南区】	1997	かつくら草津近鉄百貨店【滋賀県草津市】		頑固寿司北新地【大阪市北区】
1976	八木の家【京都府船井郡】		かつくら木屋町【京都市中京区】		和食二条苑北新地【大阪市北区】
	住宅建築 1978.07		商店建築 1997.05		がんこ京都駅ビル【京都市下京区】
1978	岡南の家【岡山市築港新町】		かつくら千歳島山【東京都世田谷区】		商店建築 2003.09
	住宅建築 1978.07		京の田舎料理御蔵【東京都中央区】		がんこ三田【兵庫県三田市】
	洛西の家【京都市西京区】		商店建築 1998.01		商店建築 2003.05
	住宅建築 1978.07	1998	黒谷の家【京都市左京区】	2004	玉野浦の住宅【滋賀県大津市】
	菩提寺の家【滋賀県甲賀郡】		かつくら大手筋【京都市伏見区】		わいわい【京都市左京区】
	住宅建築 1978.07		商店建築 1998.11	2005	音羽の家【京都市山科区】
1979	中野の家【東京都中野区】		だいいこんや神楽坂【東京都新宿区】		がんこ各店リニューアル
1980	生駒の家【奈良県生駒市】		商店建築 1998.07	2006	吉田の家【京都市左京区】
	モダンリビング 1981.1	1999	かつくら大阪国際空港【大阪府豊中市】		聘珍樓【福岡市中央区】
	住宅建築 1981.02		かつくら鶴屋百貨店【熊本県熊本市】		商店建築 2006.08
1981	向島の縫製所【京都市伏見区】		かつくら東戸塚オーロラモール		京都高島屋レストランフロア京回廊
	向島の住宅【京都市伏見区】		【神奈川県東戸塚市】		【京都市下京区】
1982	大原野の家【京都市西京区】	2000	かつくら立川【東京都立川市】		商店建築 2007.05
	木幡の家【宇治市木幡】		商店建築 1999.08		たん熊高島屋【京都市下京区】
1983	あじびる河原町 BF、7F、8F【京都市中京区】		平尾の家 1【宇治市平尾】	2007	商店建築 2007.05
	店舗と建築No.2		平尾の家 2【宇治市平尾】		木箱の家【京都府舞鶴市】
1984	焼肉すみビル【宇治市木幡】		かつくら名古屋三越【愛知県栄市】		桂花の家【京都市中京区】
1985	斜庭のある家【宇治市御蔵山】		MIYAGI BLDG【京都市左京区】		横川さんの店舗とすまい【香川県坂出市】
	伏見稲荷の家【京都市伏見区】		商店建築 2001.03		茶室桐庵 新宿高島屋【東京都新宿区】
1986	我谷さんの家【宇治市御蔵山】		卑弥呼心斎橋【大阪府中央区】	2008	PLUS BLDG【京都市中京区】
1987	栄酢味原店【兵庫県西宮市】		京の田舎料理 渋谷マークシティ		矩形の家【京都市西京区】
1988	浄土寺の家Ⅱ【京都市左京区】		【東京都渋谷区】		樂待庵 心斎橋【大阪市中央区】
1989	岩倉の家【京都市左京区】	2001	商店建築 2000.07		商店建築 2009.06 住宅建築 2009.05
1990	イレブンビル【京都市南区】		がんこ新大阪【大阪市淀川区】		ウィンザーホテル洞窟 11F レストラン
1991	宇治動物病院【宇治市小倉】		商店建築 2001.07		ゾーン【北海道虻田郡】
	ギャラリー光胖+住宅【京都市左京区】		商店建築 2001.12	2009	桃山御陵の家【京都市伏見区】
1992	あじびる河原町全面改修【京都市中京区】		商店建築 2001.07	2010	京都芸術高校別館 4F 理事長室、茶室
	商店建築 1993.03		すみび家【大阪市北区】		【宇治市五ヶ庄】
1993	久世の家【京都市南区】		商店建築 2001.07		和久里の家【福井県小浜市】
	下鴨の家【京都市左京区】		ばんらい亭【大阪府吹田市】	2011	野洲の家【滋賀県野洲市】
	魚心祇園店【京都市東山区】	2002	商店建築 2002.04		秦町の囃【大阪府寝屋川市】
1994	ピストロ YAOYA【京都市左京区】		北沢さんの家【宇治市木幡】		和風住宅 2012
	こん祇園店【京都市東山区】		斜庭の家【東京都港区】		HAT HOUSE【京都市左京区】
	かつくら東洞院店【京都市中京区】		家庭画報 2003.09 メイプル 2003.09		掬月居【福井県越前市】
1995	かつくら三条本店【京都市中京区】		住宅建築 2009.03 チルチン人 2011.68 号		京都芸術高校コンパーション
	商店建築 1996.01	2003	がんこ蒲田【東京都大田区】		【宇治市五ヶ庄】
			南山の家【京都市山科区】	2012	竹城台のコートハウス【堺市南区】



「秦町の囃」周囲のまちなみと調和するむくりを持つ瓦屋根（撮影：松村芳治）



建築人賞記念盾「未来へ！」
グラスアーティスト 三浦啓子作

優れた建築の姿を今に留めていました。デザインの継続性は暗黙裏にあり、その上で何ができるかが設計担当に求められていました。担当者は敷地の法面に着目して、付け加えるデザイン・コンセプトの「自然」を発見しました。これにより、このキャンパスは新たに展開できるソースを獲得したといえるでしょう。

住宅の部・建築人賞「苦楽園の家」は阪神間のきつい傾斜地のぽっかりと空いた場所、いわば今まで見捨てられてきた場所が敷地であるがゆえに、逆に安全で、生活を快適に楽しむ家として美しく存在しています。これは間違いなく阪神間の文化で、こうした目で見ると、「露地のある寺内町の家」、「西宮神社祈禱殿」は関西文化の中にあり、福井県に位置する「おおい町里山文化交流センター」も同じく関西文化圏の中にあつて、さらに山村文化を内外に纏っています。

二十一世紀が二十世紀と大きく違うところは、よく指摘されるように多様性です。今後、地方分権もゆっくりと進み、伝統、文化が新たに促され、育まれていくことでしよう。「建築人」も旧式の全国版雑誌に對抗するものではなく、文化を担う広域の地域、地区版へと育っていったのだと思います。



【選評】
コンクリート打放しを基調としたキャンパスの奥に計画された体育館で、外壁3面に打放しを継承しつつ、もう1面は、敷地の北側にある法面を積極的に生かして、新たなコンセプトの「自然」を軸に、柱や梁に大断面の木架構を採用して、コンクリート打放しとは異なるテイストの大空間を生み出した。北面を開放的にしたことから体育館内に明るさがもたらされ、この施設の多目的利用を可能にしている。競技には障害となる光が一部もたらされているが、正規の体育館がすでにあるため、ここでは多様な使用方法へと検討が進んだ。法面までを含む内外の一体空間が生み出されたことで、キャンパス内に新たな核となる魅力あるスペースが誕生したことになる。



建築人2011年12月号掲載

建築主／学校法人 睦学園
設計者／竹中工務店
施工者／竹中工務店

建築位置／神戸市須磨区高倉台 7-21-1
竣工年月／2011 年 5 月
用 途／多目的ホール
構造・規模／RC + W 造 地上 1 階
敷地面積／47,659.65㎡
建築面積／838.07㎡
延床面積／742.95㎡
写 真／稲住泰広



【選評】
道路から敷地への入口幅はおよそ2mで奥行きは10mほど、門を過ぎてようやく住まうことのできる広さが現れる。南側は細く深く窪んだ水路と隣地の樹木が境界をつくる。他の3方はかなりの段差があり、いわば閉じられた空き地が敷地である。ここに個人オフィスを兼ね、活動的な夫婦と子供のための健康的な住宅を建てる。客用を含め車3台のスペースが条件。これらに対応して客用入口がアプローチに近い位置に階段として用意され、住宅用は車庫スペースの先の壁脇にある。平面計画的にはあまり特徴はないが、車の回転スペースをとった前庭と、遠く大阪湾を見下ろす場としての屋上と2階バルコニーを巧みに生み出している。軒および屋上への外部階段と池などに設計者のデザイン心が表出されている。



建築人2011年9月号掲載

建築主／松井 龍
設計者／二宮俊一郎＋諸留智子
一級建築士事務所エヌアールエム
施工者／創建

建築位置／兵庫県西宮市苦楽園五番町
竣工年月／2010 年 7 月
用 途／オフィス併用住宅
構造・規模／RC 造 地上 2 階
敷地面積／496.86㎡
建築面積／174.75㎡
延床面積／340.47㎡
写 真／富田英次



【選評】
70名ほどの子供たちが生活する根拠地としての大きな家で、敷地の形状から平面は三角形とし、2、3階の道路に面する側2面に2人室、4人室を並べ、その内側に廊下を巡らしている。1階はリビング、ダイニング、厨房、学習室、心理療法室など公的要素で構成し、リビングの2階上部は吹抜け、3階部分はルーフトイレとして屋内外部を生み出している。2階に吹抜け、3階にルーフトイレを取り入れた構成は屋内にアクティビティを誘発する装置となっている。さらに吹抜けのフリースペースに入り込んだ外部テラス、3階ルーフトイレとつながる2階ルーフトイレの存在が刺激的な空間構成を呼んでいる。外部も4人室が一部外部に飛び出して、内外に生活のアクティビティを演出している。

建築主／社会福祉法人 三ヶ山学園
設計者／野村充建築設計事務所
施工者／東亜建設工業
建築位置／大阪府貝塚市東山 2丁目 1-1
竣工年月／2010 年 9 月
用 途／社会福祉施設 (児童養護施設)
構造・規模／RC 造 一部 S 造
敷地面積／1,736.62㎡
建築面積／1,027.90㎡
延床面積／2,089.89㎡
写 真／名執一雄



【選評】
歴史の中で形成されてきた境内、本殿・拝殿への参道に沿い、しかも神池に接するように困難を背負ったプロジェクト。鉄骨造に屋根を架け、外壁は総ガラスで透明性を高めている。神社特有の飾りが内部にめぐらされているので文字通りの透明性が常時保証されるわけではないが、軽快感のある鉄骨柱と共に参道を歩く人びとにとって建物による目障り感は減じられている。逆にガラス越しに見える景色、また反射などにより楽しみながら周辺に現れる本拝殿の造形を眺めるといふ楽しみを得たようにも思える。「環境配慮」「景観調和」のテーマを無事やり遂げている。

建築主／宗教法人 西宮神社
設計者／大林組 大阪本店 一級建築士事務所
施工者／大林組
建築位置／兵庫県西宮市杜家町 1番 17号
竣工年月／2010 年 11 月
用 途／神社
構造・規模／S 造
敷地面積／42,075.00㎡
建築面積／453.26㎡
延床面積／389.87㎡
写 真／山崎浩治



【選評】
京都府との県境に近い福井県おおい町の山間に建てられた公共施設。図書館、ホールのほか、公民館、ギャラリーの機能を持つ。地元住民からは、都会ではなく田舎風にと求められたという。多重屋根と、鉄骨造ではなく田舎風に造の雰囲気も多く取り込んで、住民が自ら運営にも参加する積極性に対応し、かつ高める建築へと仕上げた。多重屋根の形成は、図書館とホールを並列させ、ホールの高さに合わせるように図書館上部に空調機械室と電気室兼室外機置場を重ねて、これにエントランスギャラリーの天井も吹抜けで揃え、高窓からの採光で館内の明るさを保証しつつ地域のシンボルをつくり出した。

建築主／おおい町
設計者／徳岡設計
施工者／こんどう・日登建設 共同企業体
建築位置／福井県大飯郡おおい町 名田庄久坂 3-21-1
竣工年月／2011 年 3 月
用途／図書館、公民館、劇場
構造・規模／S 造 地上 3 階建
敷地面積／3,658㎡
建築面積／2,769㎡
延床面積／3,478㎡
写真／松村芳治



【選評】
大阪で唯一の重要伝統的建造物群保存地区に建てられた住宅。外観は町並みに合わせて、しっくい、杉板、虫籠窓を使用し、屋根勾配も周囲に合わせている。内部は昔ながらの通り土間形式を用いて、1階にピオトロプのある中庭や茶庭を含め3箇所、2階にデッキテラス、屋上庭園と全部で5箇所の性格の異なる庭を設けて、それぞれ部屋と連絡させ、同時に風と光を呼び込んで居心地のよい住宅をつくりだしている。各部屋はけっして広くないが、中庭という外部空間を上手に使いこなしていくことによって所定の目的が達成されるように思う。新築の場合でもこのように伝統を担って、その香りを生み出すこともできる一例といえようか。

設計者／NEO GEO 横関正人＋三木万貴子
施工者／山本建築
建築位置／大阪府富田林市
竣工年月／2010 年 6 月
用 途／住宅
構造・規模／W 造 2 階建
敷地面積／163.17㎡
建築面積／89.42㎡
延床面積／150.70㎡
写 真／絹巻 豊



創業の地である桃谷駅周辺は戦前からの住宅地と業務・商業の中高層街区が混在する。敷地はこの境界に位置するため、地域に馴染むよう5階建の中層建築物とし、外観は緩やかな曲面ガラスを使用し、街区に対し清潔感のあるデザインとした。オフィススペース中央に2階から屋上まで螺旋階段を設け、本社ビルとしての一体感とコミュニケーションの活性化を図った。デサントの歴史を展示するメモリアルコーナー、ユニフォーム型紙をモチーフとした水着素材によるパーティション、70年代の旧本社ビル・レリーフの保存移設など、パブリックスペースにブランドイメージを発信するさまざまな工夫を行った。オフィス環境のトータルリノベーションにより「CASBEE」Sランク(BEE=3.3)を取得した。(中江哲、鶴澤)

建築主：(株)デサント
所在地：大阪市天王寺区
用途：事務所
竣工：2012.3
構造規模：S造・一部RC造
敷地面積：1,461.82㎡
建築面積：1,061.58㎡
延床面積：6,158.95㎡
写真：SS大阪
(内山雅人)



3つの独立した知的障害者のケアホームである。
外観は木造住宅のデザインとし、前面道路との間に植栽帯を設け、木や花に囲まれた住宅として地域の景観にとけこむよう計画した。
内部は、食堂・居間の共用空間を中心に、左右に居室を配し、2方向に便所・浴室・洗面所を設けることで、できるだけ入居者の動線の交わりを減らし、刺激の少ない生活ができるよう配慮している。
全ての居室を南向きとして日当たりを確保し、廊下にはトッブライトを設け、建物の内部へも自然採光を取り込んでいる。また、床や壁に木を多く使用し、居室の内装やカーテン、建具、照明器具、防音設備などは入居者の障害程度や個性に応じてオーダーメイドとした。

建 築 主：社会福祉法人
北摂杉の子会
所 在 地：大阪府高槻市
用 途：知的障害者
ケアホーム
竣 工：2012.2
構造規模：木造
敷地面積：2,373.86㎡
建築面積：760.98㎡
延床面積：752.76㎡
写 真：松村芳治



耐震化により建て替えた新しい園舎は、子どもたちの家の中庭を取り囲む、都市型コートハウスである。外壁はタイルと塗り壁を用い、壁面に変化を付けてボリューム感を落とし、小さな勾配屋根を連ねて周囲の住宅との調和を図った。子どもたちの家は10のユニットからなり、それぞれに玄関、居間、食堂、台所、浴室等をもつ。居場所となる居間と食堂は、光と風の入る開放的な空間とし、居室は1人部屋から4人部屋まで年齢に応じた構成としている。
中庭に面して、ランチルームと幼児の庭を設け、日常的に子どもや職員がふれあう場とした。建物の間を開けて風の道をつくり、落葉樹を中心とした植栽、井戸水による散水等、自然環境との共生を目指した。

建 築 主：社会福祉法人
生駒学院
所 在 地：大阪府東大阪市
用 途：児童養護施設
竣 工：2012.3
構造規模：RC造
敷地面積：3,066.14㎡
建築面積：1,245.16㎡
延床面積：3,508.47㎡
写 真：松村芳治



1998 年以来大阪南港から最新の音楽を発信してきた Zepp Osaka のなんばへの移転である。高層オフィスビルとの一体開発とされた敷地は、緑豊かななんばパークスから南に伸びるパークス通に面している。最大 2500 人の観客を収容する Zepp の顔となる外装では、フラクタルな音階を模した開口率の異なるパネルに、動的イメージを喚起する LED 照明とこれを映す壁面緑化を施し、昼から夜への時間の移ろいと日常から非日常へと変化する様態を表現した。インテリアでも非日常を演出することを意図して曲線を多用し、揺らぎの感覚を表現した。建築が来場者のみならず街の人々の記憶に残響することを願っている。（松井宣明）

建 築 主：Zepp ライブ
エンタテインメント
所 在 地：大阪市浪速区
用 途：音楽ホール
竣 工：2012.3
構造規模：S 造
敷地面積：7,999㎡
建築面積：2,330㎡
延床面積：3,445㎡
写 真：伸和



江戸時代後期の農政家二宮尊徳の思想「以德報徳」を教育目標に掲げ、創立 100 周年を迎えた報徳学園の教室棟と講堂の建替え計画です。設計コンセプトは、「報徳思想に基づく豊かな人間形成の場の創造」です。これからの報徳の 100 年を考え、「学ぶ」とはどういうことか、豊かさとは何かを問いながら設計を進めてきました。新しい校舎には、中央に中庭と吹抜けを設け、南北に風の通り道を設けました。また、まわりには水の流れが巡っています。子供たちにとって、この光と風、そして水と緑に包まれた学び舎で、四季を感じ、自分たちが自然の一部であることを実感しながら学ぶことが、なにもにも代えがたい豊かさであると期待しています。

建 築 主：報徳学園
所 在 地：兵庫県西宮市
用 途：学校
竣 工：2012.3
構造規模：RC造・一部S造
地上4階建
敷地面積：44,211㎡
建築面積：3,161㎡
延床面積：7,041㎡
写 真：古川泰三★
母倉知樹



南海電鉄 100 駅目として新駅「和歌山大学前駅（ふじと台）」は平成 24 年 4 月 1 日開業した。和歌山大学および住宅地「ふじと台」の最寄駅で和歌山市北部に区画整理事業により開発され 1 日約 7,000 人の利用者を見込んでいる。橋上駅舎で、南北に走る線路をはさみ、東側駅広と西側駅広の高低差約 7M を幅員 6m の開放的な自由通路で結んでいる。周辺の山谷の柔らかない・人に優しいアーチを屋根に取り入れ、自由通路の両端には中世ヨーロッパ調外観の商業ビルが建設中で第二阪和国道計画を含めて発展を続けている。駅建物はアースカラーを基調とし「まちとまち、人と人をつなぐブリッジ」としての駅舎を提案している。

建 築 主：南海電気鉄道株
所 在 地：和歌山県和歌山市
用 途：駅舎
竣 工：2012.3
構造規模：S 造 2 階建
敷地面積：4,424.81㎡
建築面積：438.87㎡
延床面積：448.79㎡

二七歳の処女作「木村産業研究所」に始まった青森県弘前市での前川國男の仕事は、その後も連歌のように積み重ねられ、晩年に向かつてさらなる変化を遂げていく。

順に挙げてみると、まず、「弘前市立病院」（一九七一年）では、「デイルーム」と名づけた中央吹抜けをバルコニーを取り囲む構成で、雪に閉ざされた冬の日も患者たちの拠り所となるラウンジ空間が実現する。続く「弘前市庁舎・増築」（一九七四年）では、建物全体を打込みタイルで覆いながら、階段室の頂部をヨーロッパの古都のレンガ造にヒントを得たギザギザのユニークな造形とし、象徴的なシルエ

トを与えてみせた。さらに「弘前市立博物館」（一九七六年）でも、隣接するコンクリート打放しの市民会館とは対照的に、赤い打込みタイルの複数の小さなヴォリュームを組み合わせた群造形でまとう上げた。そして、同じく弘前城址に建設された「緑の相談所」（一九八〇年）では、前川の手がけた建物としては初めてとなる、銅版葺きの勾配屋根が登場する。なぜ前川は、ここまでモダニズム建築が否定したはずの勾配屋根を採用したのだろうか。もちろん、そこには防水技術への過信から雨漏りの被害を被った「木村産業研究所」における手痛い挫折もあったのだろう。たしかに、「緑の相談所」と同時期に設計が進められ、四つの展示室に寄せ棟の金属屋根が架けられた「福岡市美術館」（一九八〇年）の竣工直後に行われたインタビューにおいて、前川は次のように述べている。

「フラットルーフというものは便利なこともあるけれども、使わないフラットルーフというのは、何もそこへ人が出てどうするこうするということのない場合には、フラットルーフにしなきゃならないということはないという頭でコレテン

記憶の建築

松隈 洋

弘前市斎場 1983 年
風土に学んだ前川國男の到達点



勾配屋根のかかる車寄せ



冬の雪に閉ざされた同じ風景

鋼の屋根をつけたわけです。それともうひとつは、屋根というものにかかるお金が少な過ぎるのではないかとぼくは思うのです。壁なんか比べて、肝心かなめの屋根にお金が少な過ぎるんじゃないかという予感がしているの。」（『新建築』一九八〇年二月号）

こうした発言からも、長い経験から学んだ前川の建築観の深化が読み取れる。それは、雨の多い日本の気候風土への洞察から導き出された実感でもあったに違いない。しかし、「弘

そして、こうして長く続いた弘前での仕事の最後に位置するのが、最晩年の「弘前市斎場」（一九八三年）に他ならない。やはり、こ

の梁が見えてくる。内部も、陰影に富んだ重厚さと静寂に包まれた空間が広がる。それらすべては、何よりも、亡き人を偲びつつ見送る人々が、たとえ冬の雪に閉ざされる厳しい中にあつても、共に静かで温かな時間を過ごすことのできる安心感を与えようとする思いから発想された造形なのだろう。同時に、それは、人間の営みと共に長く存在し続けるために、建築はどのようなたたずまいと風格を備えていなければならないか、という前川が弘前という風土から学び続けた建築に対する考え方の到達点も示している。折しも、この斎場の設計中に収録されたインタビューの中に、次のような前川の発言が残されている。

「建築っていうのは、人生のはかなさに対する何らかの存在感を索めたい、というところに本当の意味があるんじゃないのかって思うんだな。（中略）芸術というの、そういう、いわば日常茶飯から始まるんであつてね。そのことを抜きにして、たんにエステティックにのみ語られるのはおかしいと思う。（中略）もしも建築が芸術であるならば、建築家っていうのは、骨身を碎いて存在感を索め続ける人間のことだよ、そうだろう？そこには多くのひとたちとのコミュニケーションの絆がある」（前川國男「建築家の信条」晶文社、一九八一年）

「木村産業研究所」から五〇年に及ぶ歩みの中で、今もなお静かな時を重ねる弘前の建築群は、そのまゝ、建築家・前川國男が、日本の風土や伝統と向き合いながら、独自に育んだモダニズム建築の大いなる軌跡そのものなのだと思う。

この言葉どおり、訪れると、遠く弘前のシンボルである岩木山を望む小高い丘に抱かれるようにして建物が置かれ、正面に車寄せの大きな屋根が現れる。その軒下に入って見上げると、思いのほか骨太なコンクリート打放し

松隈 洋
京都工芸繊維大学教授、博士（工学）。一九九七年兵庫県生まれ。一九八〇年京都大学卒業後、前川國男建築設計事務所に入所。二〇〇八年十月より現職。



完成後、緑に覆われたビーンズドーム（上）

大林式緑化工法にて施工中のビーンズドーム（下2枚）

阪神競馬場や中京・淀競馬場の緑美しい芝を、ご覧になった方は多いのでは無いでしょうか。実はそれらには、今回ご紹介する大林環境技術研究所の大林式緑化工法が使われているのです。その他にも、急勾配の屋根が緑いづばいに覆われたビーンズドーム（遠藤秀平設計）や、低炭素リーダー賞獲得建築の屋上緑化、そして小学校や幼稚園のグラウンドの芝生緑化や土壌改良など、数多くの緑化事業に採用されています。

【大林式緑化工法とは】

杉や檜の樹皮から作られた二〇〇％天然多目的緑化資材『Eソイル』を現地の土に混ぜるだけである。配合比や独自開発の化学肥料など技術的ノウハウはあるものの、極論してしまえば『Eソイル』を現地の土と混ぜる、唯それだけである。私たち建築士の緑化工法に対する常識を覆す程のシンプルな工法、それが大林式緑化工法である。

『Eソイル』を現地の土に混ぜることで、植物がよく育ち、芝は禿にくく、冬枯れしにくくなる。施工も実にシンプルで、『Eソイル』混合土を敷き詰めたり、斜面に吹き付けるだけで、瓦やスレートやスチール屋根、コンクリート面に直接施工でき、屋上緑化・壁面緑化が可能となる。通常、必要とされるラスや金網、防根シートなども必要としないため、大幅な工期の短縮と、コストの削減が出来る。また『Eソイル』混合土をグラウンド上部に敷き詰めることで水捌けや排水性を高め暗渠排水設備を必要としない。

くの可能性を秘めているため、建築士にとっては様々なイメージの緑化を実現してくれる素材であると感じた。

今回の取材中、『Eソイル』を使って作った母です。」と、差入れて下さった母はとても甘かった。驚く私に大林さんは「根の発達が違うのですよ。」と伝えた。その母の甘さが全てを語っていると感じた取材であった。



緑化工法について語る大林社長

さらには、クッション性に富み、砂の飛散の少ない、加えて天然の殺菌力に富んだ衛生的で安全なグラウンドへと生まれ変わらせることができる。

土壌を選ばないため、どんな環境の土壌も再利用でき、新たな客土を必要としない。そのため、土を入れ替える必要も無く、土壌改良ができることから、真の意味での環境保全工法と呼べる。

大林環境技術研究所の大林久さんは、武田薬品工業で、三十年以上に亘り農薬の研究に携わった。筍の成長ホルモンを利用した種無し葡萄を作る薬品なども開発した農薬開発の第一人者である。高度経済成長期で社会全体が増産に沸く中、大林さんは次のように考えたという。「化学万能主義で歩んで来たけれど、レイチェル・カールソンの『沈黙の春』に出会い、環境問題を意識し始めました。化学万能主義の脆さや危なさに気づき、自然を尊び、その中にヒントを得てゆく事の大切さと自然との共生や環境に優しい技術を考え始めました。」

【Eソイル開発のきっかけ】

大林さんは武田薬品時代、土中での農業



子供達も安全に緑に触れ合える

の効き方を研究していた。「特に蘭の花には頭を痛めていました。」と語る。蘭は水をやり過ぎると根が腐るため、根の周りの雑菌を抑えることを目的に農薬を投与する。土中では微生物が薬品を無害化し、効果が持続しないというジレンマに悩んでいた。そんな中、「杉皮が腐らないのは、天然の殺菌力が長い間持続し続けるからだ」と気づきました。ならばその殺菌力を生かせないかと考え始めたのがきっかけでした。」と語る。それまで腐らない杉や檜の樹皮は堆肥化しないため、土壌や土壌改良材として使えないと言われ、焼却処分されてきた。視点を180度転換して、その腐らないという天然の殺菌力を生かすことを考えた。それまでは有機農法などの影響から、堆肥化することが善だとのが考えが支配的だった。しかし、後述するように堆肥化こそが環境汚染の最たるものと考え、「堆肥化に頼らず、杉や檜の樹皮が持つ殺菌力を利用した、多目的緑化資材の開発に至ったのです。」と語る。

【緑化に関するウソとホント】

堆肥化が環境汚染に繋がる理由について大林さんに話して頂いた。

「植物は、太陽光エネルギーを用いて、根から吸水した水と空気中の二酸化炭素から炭水化物（セルロース）を合成し、酸素を放出します。同時に葉からは水を気化させ気化熱で温度を下げます。この時その植物の重量の約四割は吸収固定した炭素成分であることから、植物が地球温暖化防止に役立つと言われています。この様に植物は地球温暖化の原因とされる二酸化炭素を吸着すると共に、酸素を発生し、葉の気化熱から温度を下げる働きをする有難い存在です。しかし、堆肥化とはそれらとは全く逆の化

学反応で、大切な酸素を使い発熱し固定されていた炭素を二酸化炭素に換えます。そのため、環境先進国ヨーロッパでは堆肥化は野焼きと同様に法律で規制されているのです。また、堆肥化とは微生物分解であり、菌の繁殖を招きやすく農薬の散布が必要になります。そればかりか、堆肥化の過程で生成されたブドウ糖が河川や湖沼、地下水に流出し、富栄養化からアオコによる水質汚染の発生などの更なる環境破壊を引起すのです。このことから、天然殺菌力によって堆肥化しない『Eソイル』は、環境面においても優れた土壌改良材と考えています。」

【Eソイルで植物がよく育つ理由】

大林さんは「目に見えない土の中こそが大切なんです。」と語る。繊維材である『Eソイル』を土に混ぜる事で土中に適度な隙間とクッション性を与え、土中の酸素量と保水量を飛躍的に増やす事が出来る。そのため植物は驚くほど根を張り、加えて天然の殺菌力が細菌の繁殖を防ぎ、植物の根を守る。この相乗効果によって植物がとてもよく育つのだ。農業を研究してきた大林さんだからこそ、植物を支える根の部分の大切さに目を向ける事が出来たのだろう。

『Eソイル』は、人にも環境にも優しい。天然の殺菌力から土中の雑菌が少なく、農薬の必要が無いことなどから、子供達が安心して触れる事が出来る安全なグラウンドが実現出来る。また、土中での細菌の繁殖を抑えることで連作障害を防ぎ、土壌の入れ替えが不要となるなど、屋上菜園にも優れた効果を発揮する。

『Eソイル』は、繊維材であり、混合し絡み合うことで、軽量性や柔軟な強さなどの優れた特性をも持つ。シンプルさからくる多

地球温暖化を止める
低コストの緑化工法を開発施工
屋上・壁面・グラウンド・全ての場所に緑を

株式会社
大林環境技術研究所
Obayashi Eco-Technology Research Institute

〒521-1341 滋賀県近江八幡市安土町上豊浦1435
TEL: 0748-46-6810 FAX: 0748-46-6064
E-mail: obayashi@basil.ocn.ne.jp

『通天閣と新世界』 百周年の魅力

はじめに

どんな建築物でも、それをつくることを依頼し、それに応えて設計をおこなう建築士がいて、それをつくりあげる施工者がいます。誰が関わったのか広く知られた建築物もあれば、そうでない匿名性の高い建築物もあります。いずれにせよ、そこには建築士が必ず関わっています。

この季刊連載企画である「ひろば」は、近畿において、さまざまな分野で活躍する建築士を紹介し、その活動内容を広く伝えていくことを目的としています。

● ● ●

大阪のシンボルである『通天閣』が、新世界百周年にあわせてリニューアルされました。今回はそのプロジェクトに関わった建築士の方々に、座談会形式でインタビュー取材をおこないました。建築士の目を通しての『通天閣と新世界』についてお話をうかがいました。

はてさて、大阪人なら誰でも知ってる通天閣、その通天閣のリニューアルデザインは、誰がどのように決めたのか？そして、どのような人々がその実現に関わっているのか？ 建築人編集部メンバーがクライアント、設計者、施工者の三者にさまざまなお話を聞いてまいりました。ご一読ください。



通天閣の歴史

二〇一二年七月三日、新世界は百周年を迎える。新世界にそびえる通天閣も初代通天閣から数えて誕生百周年となる。

大阪人なら誰もが知っている現在の通天閣は二代目だ。初代通天閣は明治四十五年（1902年）に第五回内国勸業博覧会の跡地につくられた新世界という歓楽街の中心施設として、現在より少し南の位置に建てられた。

第二次世界大戦中に火災に遭い、戦時中の金属献納運動のため昭和十八年に解体され、鉄資材が国に供出された。それから十年以上、大阪のシンボルである通天閣が存在しない状態が続いていたが、戦後、地元新世界の人たちがお金を出し合い、昭和三十一年に再建された。二代目通天閣の設計者は東京タワーや名古屋タワーも手掛けた内藤多仲で、施工は奥村組が請け負った。

現在の奥村組のホームページには、二代目通天閣について、建設当時社長であった奥村太平の思いとして『当時の企業規模からすれば大きなリスクを伴う物件でしたが、「地元のことでもあり、また、成功すれば大きな財産になる」と思い受注しました。』とその覚悟と決意が語られている。

それから五十六年目の改修工事。当時

違う。

「今回のリニューアルに際して日本中のタワーを調べてまわったんですが、通天閣だけが特別というのに気付いたんですね。他は電波塔であったり、何かしら特定企業の目的があって建てられているけれども、通天閣は地元の方々の情熱で建てられたところが特別であって展望以外に目的も無い。しかも展望といっても、今や高さが価値では無くなっている。」と菅課長は語る。

タワーがその誕生において高さを希求するのはタワーたる宿命だが、時を経て、高さに価値が無くなった時に、陳腐化しないためにはどうしたらいいのか。それはどこのタワーも共通の宿命であり悩みでもある。そんな中、通天閣は設計者の内藤多仲自身が「通天閣はやっぱ庶民のもの」と発言し、デザインも明らかに他の塔とは違うものを意識していた。それは大阪のシンボルという大阪庶民の認識が、通天閣がタワーや塔と呼ばれずに、天に通じる「閣」と呼ばれ、未だに不思議な魅力を発している所以だと言える。

「ほかのタワーの方々のお話を聞くと『通天閣さんにはものすごい個性があるじゃないですか。それは僕らにはないのでもとても羨ましい』とおっしゃられて」

カラーパースと黄金の茶室

「僕はほんまに変わりもんで、人と同じ事をやるのが嫌いなんです。奥村組さんからこの提案を頂いて、すぐ気に入りました。」と、とても満足した様子で、その時のパースを見ながら西上社長は語る。

今回の改修は、百周年記念事業の一環として地下を除く全館の内装改修をおこない、最上階を「黄金の展望台」としてリニューアルしている。複数の建設会社に参加する設計コンペティションだったそう、奥村組が提案した「黄金の展望台」のパース、この一枚が社長の琴線に触れることとなり、設計および施工が奥村組に決定した。

「通天閣は大阪らしい塔です。その大阪、なにわと言えば『太閤さん』、『太閤さん』と言えば『黄金の茶室』。これは絶対にやりたい！と思った。」と西上社長は語る。

奥村組建築設計部

ではいったい誰が最初のアイデアを出したのか、という問いに対して奥村組の菅設計2課長は、「最初に西上社長にお会いした時に、社長が金色の名刺を作られていて、『僕は金が好きやねん。』という一言があったんです。それで『あ、

金や』て、思ったんです。」と冗談まじりに語る。実際には、それは単に発想の原点であって、それを具体化するために、先のエピソードとなる太閤さんの黄金の茶室やさまざまなことを具体的な背景として肉付けをしていったのが真実だろうと思われる。

組織の中で建築設計にたずさわる者なら誰もが苦心するであろう組織内でのコンセンサスの形成について、「黄金の茶室自体を悪趣味」と捉える向きもある中、社内では反対意見などはなかったのか、率直に質問をぶつけてみた。

「社内でも『本気か？』という意見があったのは事実です。ただ、繰り返し社長が『おもしろいもんをつくりたい』と言われていたこと、そこに我々もこだわったんです。」と菅課長は言う。

同じく設計2課北村主任は、「社長がよく言われていた『オンリーワン』という言葉を、それは何なのかを掘り下げていきました。」と補足する形で語ってくれた。その話を聞いていた西上社長は「僕が一番心をくすぶられたところにみなさん、苦労されていたんですね」と驚かれていた。

誰が見てもわかるように通天閣はあきらかに全国にあるタワーとか塔とかツリーとか呼ばれる代物とはちょっと趣が



設計コンペティションで、奥村組が勝利することを決定づけた「黄金の展望台」のパース。実際は「黄金の塔」と呼ばれるデザイン提案書の中に含まれた幾枚かあるパースのうちの1枚。このパースが、今回の通天閣改修工事のデザインの原点となった。

黄金の展望台パース
(提供 株式会社 奥村組)



のことを詳しく知る先達もいない中、どのようにして今回の通天閣のリニューアルがおこなわれていったのだろうか。

上段：西上 雅章
通天閣観光株式会社
代表取締役社長

中段：菅 正和
株式会社 奥村組 西日本支社
建築設計部 設計2課長

右頁：通天閣を望んで記念撮影

下段：北村 由香子
株式会社 奥村組 西日本支社
建築設計部 設計2課 主任





と北村主任が語るように、通天閣の強烈な個性は設計者にとってメリットでもあり、また大きな悩みでもあった。

「奥村組にとっても通天閣は特別な存在なんです。建築からは少しずれたエンターテインメント性の高いコンペやったんですけど、どうしても勝ちたかったんです。」と鳥越営業課長は言う。

「黄金の展望台」をはじめとする提案パースは専門のパース屋に依頼したのではなく、設計部員の北岡氏がそのほとんどを作成した。通算で五十枚を超えるパースの作画を担当した北岡氏は「黄金色を表現することが難しく、最初は少し控えめな表現にしていたのですが、『大阪らしくない、とことん行けっ！』って言われて、最終的には納得できるものが提案できました。」と語る。

三好氏と奥村組建築設計部

今回の改修工事では建築的な要素以外にもいろいろな部分で、西上社長の大阪商人的なアイデアが盛り込まれている。

鳥越課長は「次から次へと社長がいろんなアイデアを出されたので、それにいつて行くのが大変でした。」と笑う。

その経緯を営業課長は「各階・各部を検

通天閣でしか出来ないこと、それにこだわることは並大抵ではなかったと思われる。「中途半端であれば、今のようになくさんの来場者があったり、マスコミが取り上げるということもなかったと思う。」と西上社長が語るように、黄金の展望台についても「とことん黄金にこだわって、やっぱりどこから見ても、本物か偽物かどっちなのかわからないものにしたくて、日本全国にあるありとあらゆる黄金色の素材を集めました。」と、その徹底ぶりを北村主任は披露してくれた。

通天閣と新世界

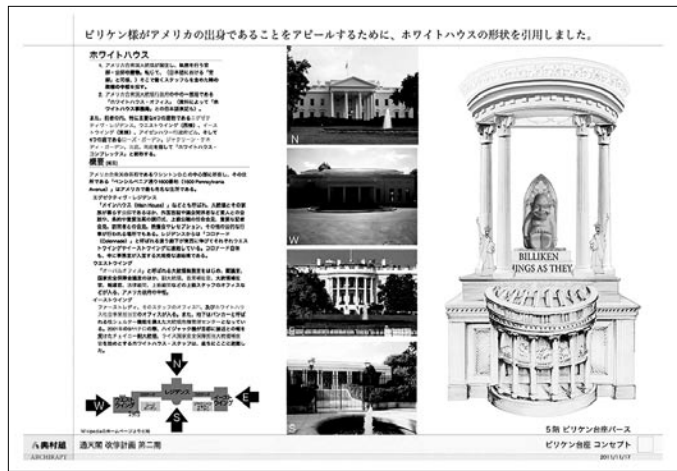
「新世界がつくられた時の理念、それは庶民に対して「娯楽の場」を提供することだった。娯楽は時代とともに変わる。新世界においても演芸・映画の街だったのが、パチンコの街になって、今は串カツの街になって、と変貌している。庶民にとつての娯楽は時代とともに変わっていく。そこで大切な事は理念である。それは常に「娯楽の場」を提供し続けることだ。そうすれば新世界というまちはなくならない。そしてその役割を通天閣は担っている。」と西上社長は語る。それが「黄金の展望台」であり、「ビリケン」をパワースポットとする「発想へ」とつながっていく。



5階展望台 ビリケンさん

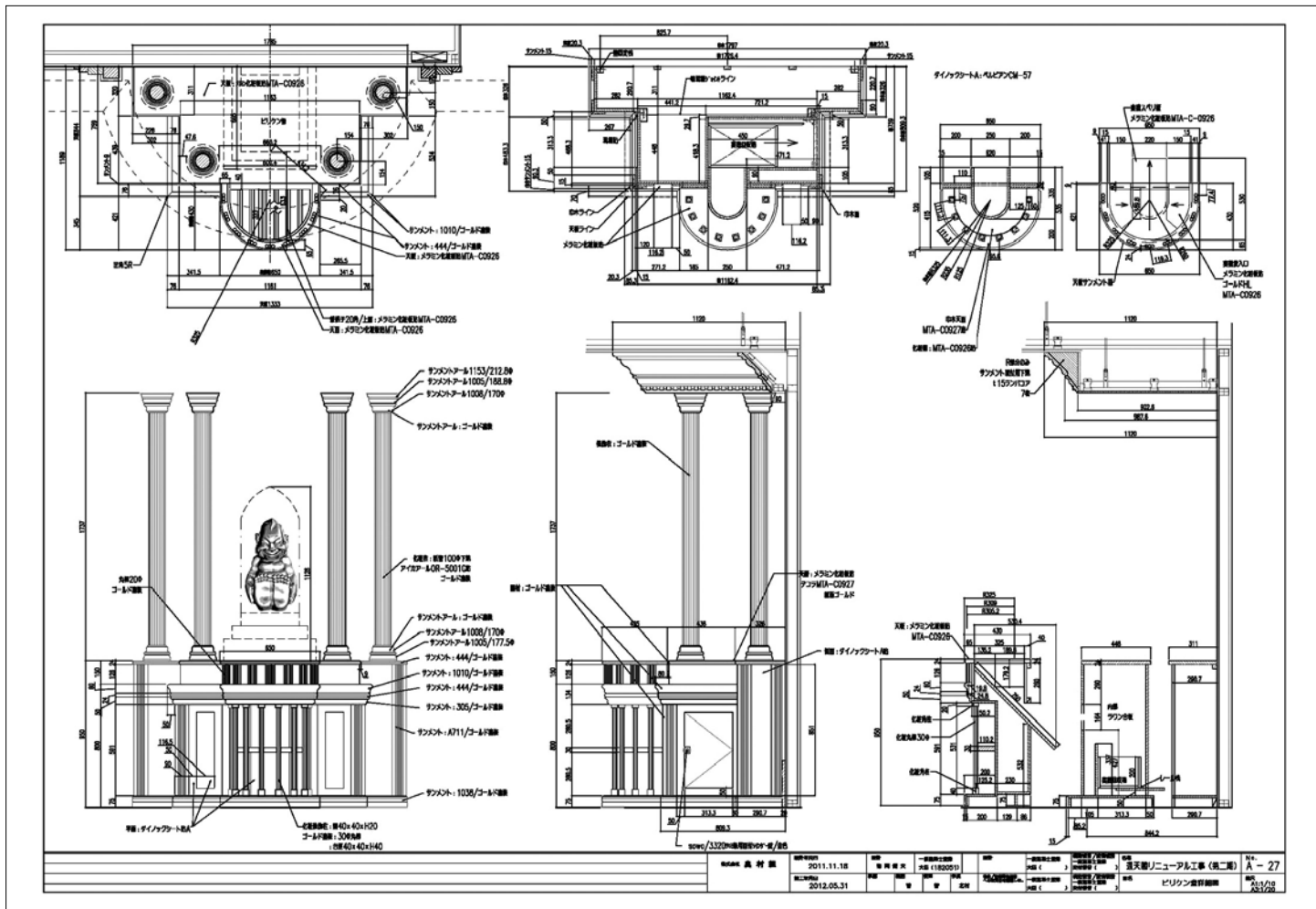


討していく中で、いろいろ変遷はあったんですけど、『黄金の展望台』をつくるという軸だけはぶれませんでした。それを中心に話を進めていったんです。」と語る。



三代目ビリケンを登場させるため新しい舞台が必要となった。西上社長と菅建築士のやりとりを踏まえて、アメリカ生まれのビリケンをホワイトハウスの台座に座らせることを提案した資料。実在するホワイトハウスの外観形状を丁寧に読み取り、台座のデザインに落とし込んでいる様子がわかる。

ビリケン台座提案資料
(提供 株式会社 奥村組)



「以前から考えていたことなんです。が、パワースポットをつくりたいという思いがあったんです。うちにはビリケンという守り神がいてね、そのビリケンがあるから一層のパワースポットになるんじゃないかと・・・。」と西上社長。

アメリカ生まれの神様ビリケンさんは、前の二代目までは摩天楼とヤシの木の下に鎮座していたが、今回、新たな三代目となるビリケンさんは、ホワイトハウスの上に鎮座している。西上社長の言う「ビリケンさんをパワースポットにする」を具体的なカタチに落とし込んでいった結果である。

設計は多くの人が関わってその中身を成長させていく。時には外部の力を必要とする時がある。組織設計の外からの立ち位置で、今回の改修計画に関わったのが有限会社アーキラプトの三好誠人建築士だ。奥村組設計部が起こした絵に、より具体的なアイデアを付加し設計をまとめていく支援を三好氏がおこなった。

「アメリカが怒ってくるかもしれないけれど、これはもうエンターテインメントですから、いろいろとうんちくを語れなければならぬ。『これ何か知ってるか？ ホワイトハウスやねん』って。そう言え

上段：鳥越 祐二
株式会社 奥村組 関西支店
営業課長

中段：北岡 賢
株式会社 奥村組 西日本支社
建築設計部 設計2課

下段：三好 誠人
有限会社 アーキラプト
代表取締役



るための具体的なカタチをデザインすることもいわゆるエンターテインメントの一つやるなど。最初に黄金の展望台のパースを拝見して、ここまで来てるなら行かなあかん。折角、奥村組さんが『とことん行け』と言うてるのにブレーキを踏むわけにはいかないでしょ。どっちか言うたら、私はアクセルを踏まなあかん役割、立場だと考えました。」と三好氏は言う。その話に呼応して「七福神や四獣神にビリケンさんですよ。無国籍になる状況も含めて『ほんまにええんか』という葛藤はあったんです。けれど、大阪らしさということ、通天閣でしかできないということ、それと何かの拍子に西上社長が『オレは平成の秀吉になるんや！』とおっしゃったのを聞いて、その一言で建築屋としてのブレーキがふっ飛んじやいました。」と菅課長は笑う。

同じく北村主任も「そうですね、やっぱり私にも先ほど言っていたように黄金金に対して『本当にやるのか？』って心の中に引っかけががあったんですよ。最初は想像もつかない世界だったので、二の足を踏んでいたんですが『行けっ！』と言った以上、菅以上に行く気で、菅から『ちょっとやりすぎちゃうか』と言われても、『やれっ！』って言うてましたやんって押し切ったんです。」と語る。

新世界も出来た当初は最先端のモダンな街だった。それが長い歴史を積み重ねて、今に至る過程の中で大阪らしさのあるまちへと変わってきた。

現在、大阪ではいくつかの大掛かりな再開発が進められている。新しくつくられたビル群や街は確かに新鮮だ。それらが新世界と同じように大阪らしさを身につけることができるかどうか西上社長に問うてみた。

「今、大阪らしさが残っているまちっていうのはお初天神、法善寺横丁、そしてこの新世界くらいなんです。『ああ大阪やなあ』って感じることを残さないとかのまちは埋没してしまう。新しいまちはリトル東京、東京ナイズされている。それやったらほんまものの東京には絶対に勝たれへん。だからこそ『オンリーワン』なんです。新世界らしさ、大阪らしさ、それを残すべきだと思います。」

百周年として、7月3日に通天閣ではランドオープンの式典がおこなわれます。まだ通天閣や新世界に行かれたことがない方はぜひ一度訪れて、今回の改修工事に活躍した建築士の熱い想いを体感してみてください。

最初、ことばとイメージで紡いでいたビリケンの新しい台座を、実際にカタチとしてつくりあげていくための実施詳細図面。

上：ビリケン台座詳細図
(提供 株式会社 奥村組)

インタビュー
中間 伸和
曾我部 千鶴美
春岡 須磨子
牧野 高尚
筑波 幸一郎 (責任編集人)

写真撮影 田龍 哲也

橋本市立高野口小学校

－築75年木造平屋小学校改修・改築の辿った道－

本多友常

本多友常

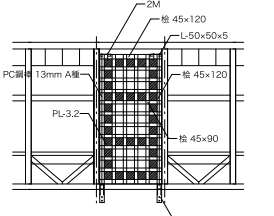
和歌山大学システム工学部
環境システム学科教授（建築設計）
1948年 生まれ
1970年 早稲田大学理工学部建築学科卒業
1972年 早稲田大学理工学部建設工学科大学院修士課程修了
1977～1979年 Architectural Association School of Architecture
1972～1998年 竹中工務店設計部
1998年～ 和歌山大学システム工学部



正面玄関（東面）



木製耐震壁



木製耐震壁図面



既存竿縁天井を温存し、直下には天井ボードを新設



全景（東面より望む）

旧高野口小学校校舎の概要

和歌山県橋本市の高野口小学校（設計:藪本芳一）は、昭和12年（1937年）に木造平屋建て、近代和風の校舎として建設された。校舎面積は3,604㎡の大規模木造校舎である。

高野口町は当時パイル織の生産で隆盛を誇った地であり、住民からの豊かな浄財により建設され、郡内一と言われる校舎であったとされている。周囲には、低い石垣の上にウバメガシの生垣がめぐらされ、正門に向けて構えている式台構えを思わせる正面玄関は、江戸時代の藩校を思わせる品格を備えている。

中央に正面玄関のある校舎は南北一直線に98mの幅を持ち、教室棟はその主廊から直角に78メートルの翼廊が4本延びて、E字型の平面構成をとっている。

町や学校、児童らによる維持管理もよくなされてきており、戦前期の現役木造校舎で大きな改変もなく使われてきたものとしては最大級のものである。

高野口小学校改修・改築の概要

校舎の改修は2011年3月に終了し、その経過と内容を記した報告書が2012年3月に完了、ほぼ足かけ10年にわたるロングプロジェクトとなった。

改修の要点は、受け継がれてきた教育環境の価値を損なうことなく、歴史の痕跡を可能な限り温存することにあった。改修の印象が小さいほど校舎の価値が高まり、子どもたちの心に深く浸透していくに違いないという思いが、学校関係者や改修を手掛ける人たちの間で共有されていたからだ。このため、木構造による耐震補強を基本とし、過半以上を目標に各部位や素材ごとに使えるものを残す方針とした。

・木製耐震壁

耐震壁は、既存の柱梁の間に木製格子をはめ込み、その格子の一部には鉄板を埋め込んだ。天井裏には水平筋交いを挿入し、端部に厚さ30mmの杉板を幅一間（1.8m）で敷き詰めて、建物全体としての水平剛性を確保した。

・旧瓦屋根の再利用

既存の瓦は奈良県工業技術センターで吸水、凍害、曲げ破壊荷重試験を実施した上で、全数を打音検査。半数以上を南面と東正面で葺き直した。工法についても、旧来通りの葺

き土を載せる方法を採用。耐風性能としての荷重を確保しつつ、強風に対しては要所を釘とステンレスの結束線で固めた。

・古い建具を永久保存

教室の外壁に面する窓は、破損防止のために強化ガラスを採用し、新しい木製建具で置き換えた。これまで使用していた古い建具は、すべて小屋裏に運び込んで永久保存している。一方片廊下を挟む内と外の両側の窓は、教室を外気から守る2重の建具の効果があるものとして、修理して使い続けることとなった。

・竿縁天井の天井裏保存

竿縁天井はそのまま温存。直下に天井ボードを新設した。古い天井には吊りボルトを通す部分だけに穴を開け、壁際で昔の天井の存在を垣間見ることができるようにした。床も古い素材を下地として利用。その上に新しい表面材を張っている。

高野口小学校改修の発端

・町議会における建直し決定

旧高野口町では、平成7年1月(1995)の阪神淡路大震災をきっかけとして、耐震性への危惧が高まり、旧高野口小学校PTAからの陳情書が平成8年(1996)の春に提出された。これを受けて旧高野口町議会は直ちに小学校校舎の建て替えを決定し、それは同時に旧校舎の取り壊しも意味していた。

この時点では誰が見ても、70有余年を経た建物の老朽化と耐震性能としての危険性は、明らかであると映っていた。さらに新教育課程に対応する間取りの不備など、どれをとっても不具合が至るところに生じていた。

これを受けて平成12年度(2000)には5業者に建替え案の参考提案が委託発注され、改築を前提に事業が動き始めた。これは正式なプロポーザルではなかったが、行政上の慣例として、これらの中から最終的な設計者が選ばれると考えられていた。

・保存改修への芽生え

しかし同時に旧高野口町においては「高野口中心市街地商業等活性化基本構想作成事業」に着手し、高野口小学校を地域資産としての価値に着目する保存再生の道が発案された。

翌年平成13年度(2001)には高野口まちづくり協議会が設立され、旧高野口町教育委員会との懇談会を経て初音すまい研究所、和歌山大学、名古屋大学などの協力により、「高野口小学校校舎実測調査」が実施された。

なお後日竣工当初の旧図面一式が発見され、当初計画時とほとんど変わっていないことも確認された。

平成14年2月26日(2002)に旧高野口町教育委員会と高野口まちづくり協議会の共催で、「教育環境と高野口小学校校舎を考えるシンポジウム」が開催され、5月14日には住民からの一般公募による「高野口小学校整備推進委員会」が設立され、建て替えか保存かを含めた環境問題について正式に論議されることとなった。

・実態調査と提案

これを受けて6月1日、初音住まい研究所、和歌山大学を中心とする「高野口小学校を考える会WG」を設立し、技術的な観点からの客観的な判断材料を整えていくことになった。その後文部科学省による補助金を得て「コミュニティの拠点としての学校施設整備に関するパイロット・モデル研究」に着手し、耐震性能の実験、各部の劣化状況調査、再利用可能性の検討などを経て、翌年の平成15年3月30日(2003)高野口町教育委員会に対して報告書を提出。

これを受けて「高野口小学校整備推進委員会」が改修改築の方針を旧教育委員会に提言し、旧高野口町議会は6月22日平成8年の決定を破棄し「改修改築案」を採用した。

なお文部科学省が日本建築学会に委託した「既存学校施設の有効活用に関する調査研究」では、2004年の報告書の中で、住民参加による計画策定など有効活用事例としてとりあげられていた。

この後、実現に向けて「高野口小学校基本計画構想策定委員会」が設置され、並行して専門家チームとして和歌山大学が中心となり基本計画構想案を策定していった。この間平成16年5月21日(2004)には町指定文化財に指定され、実務的検討を重ねた結果、翌年平成17年6月16日(2005)基本計画が終了し、以降和歌山大学+NPO法人環境創造サポートセンターが実質上の基本設計、詳細設計を引き継いでいくことになった。

同時に平成17年9月(2005)建設に向けた「高野口小学校建築委員会」(委員18名)が設立され、町村合併に向けて作業は大詰めを迎えた。

・初動期のエポックメイキング

このころを振り返ると、子供、先生、保護者を中心とした具体的な初期活動の重要性が浮き彫りになってくる。その要点を列挙すると以下になる。

- ①住民による価値への気付き
- ②住民の気付きに確信を与えた外部からの声
- ③公衆に認知してもらうための公式な会合
- ④住民が主体となった検討委員会の設立
- ⑤公的な助成金を得たパイロット・モデル研究の着手
- ⑥客観的な文献調査、実測調査、実験、評価、提案を伴う詳細研究
- ⑦中間報告としての住民に対する公表
- ⑧子供、学校、住民参加を促すワークショップ
- ⑧町指定文化財としての公的な価値化
- ⑨改修事業を進めるための受け皿としてのNPO法人の設立
- ⑩建築学会からの要望書提出
- ⑪教育委員会、町長、議会への説明と調整

こうして平成8年に採決された新校舎建て直し決定は破棄され、平成15年に改修、改築に踏み切る英断を下された後、実施設計を経て着工を待つばかりとなっていた。

市町合併による動揺

・減額による設計変更

ところが平成18年3月(2006)旧橋本市と旧高野口町が合併し、新橋本市が誕生すると予算措置に不都合が生じ、平成18年9月(2006)大幅な設計変更による減額変更案作成(体育館・プール・幼稚園・オープンスペース・ランチルーム等の設計変更)が決定された。

さらに平成19年3月(2007)完成した図面に対し、中庭の中央部に占めていた校務センター部分の予算が議会承認を得られないとのことになり、再び減額検討が要請されることとなった。

・町内分裂の危機

このほぼ同時期の3月、前教育委員でもあった住民により小学校の建替え新築を求める約2700の署名が集められ、全面建て替えに関する請願書が橋本市長宛に提出された。

市議会の文教厚生委員会では6月にこの付託を受けて審議の結果「継続審議」となり、7月30日に請願人及び設計者からの議会に対する説明会が開催され、結果継続審議となり、9月議会までに調査することになった。

この流れに対し、平成19年8月3日(2007)保存改修を望む住民が、高野口小学校の改修を推進する会（杉村泰久会長）を結成、建替え新築を求める説明書の随所に、事実誤認の記載が有ることを指摘しつつ、建替え新築を求める約7000以上の署名を集め、町内分裂の危機に直面することとなった。しかし杉村氏はこれを提出することにより、住民感情が地域内で決定的な分裂に至ることを心配し提出は控えていた。

・揺れ動く方針転換から着工へ

ところが突然8月28日、教育委員会より一部を保存とし、新しく新校舎を建て替える方針転換が発表された。これを受けて、全面建て替えを目指していた請願は取り下げられ、平成19年9月10日(2007)橋本市議会は全面建て替えを求める請願の取り下げを承認した。

この時、平成19年9月3日(2007)日本建築学会近畿支部より高野口小学校校舎の保存・活用に関する要望書が提出されている。

これに引き続き平成19年9月28日(2007)橋本市教育委員会は、フリーな状態で地元の方針を打ち出してもらうことを趣旨として「一部保存、建替え」の方針を撤回し、ようやく保存、改修の道が開かれることとなった。

その後実務的作業が再開され正式には平成19年12月26日(2007)橋本市より屋内体育館・プール監理業務及び校舎計画再変更についての3度目の大幅変更により、現在の間取りに近い状態の設計図書作成業務が開始されることになった。

こうして平成20年7月(2008)に屋内体育館、引き続きプールも着工し、平成21年からの本校舎着手の準備が整った。工事は平成21年6月30日(2009)の保護者説明会から始り、約2年間にわたり、工区を6分割し、五十数回の定例会議とそれに付随する各種調整打合せを経て平成23年2月26日(2011)の記念式典を迎えることになった。

・着工後の課題

この改修は、生徒、保護者、小学校、住民、高野口町商工会、旧高野口町、橋本市、高野口町教育委員会、橋本市教育委員会、旧高野口町議会、橋本市議会、施工者、NPO環境創造サポートセンター、和歌山大学などの多くの人々の夢や知恵が集められたものであり、その総意の結果として今日の姿を得ることになった。

改修内容は歴史的価値を重んじる声と、新建材によるモダンな教育環境の実現に向けた声の間で、その調整は難航を極め、ようやく今日の姿を得ることとなった。

この改修を不十分と見るか、あるいは手を入れ過ぎと見るか、その評価は多岐にわたっている。しかしかろうじて歴史を受け継ぎ次世代へ残すべき骨格は保持出来たのではないかと考えている。



式台構えの玄関　東側外観



中庭



廊下



音楽教室



廊下（北東角より）

撮影：河合止揚



住まいに、人に、安心を。
住宅情報相談センター
住宅相談・住宅情報提供・各種研修事業
住宅展示場の企画・運営
住宅性能評価機関・住宅保険取扱機関

一般財団法人大阪住宅センター

理事長 立 成 良 三

大阪市中央区南船場四丁目4番3号
心斎橋東急ビル4階
事務局 06-6253-0071
<http://www.osaka-jutaku.or.jp>



建築物の質の向上と安全性の確保に貢献する

一般財団法人
日本建築総合試験所

理事長 辻 文 三

〒565-0873 吹田市藤白台 5-8-1
TEL 06-6872-0391 FAX 06-6872-0784
<http://www.gbrc.or.jp>



社 団 法 人

大阪空気調和衛生工業協会

会 長 大 平 哲 也

〒541-0052 大阪市中央区安土町1-6-14 朝日生命辰野ビル2階
TEL 06 (6271) 0175 FAX 06 (6271) 0177



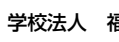
社 団 法 人

日本建築材料協会

会 長 藤 井 實

本部 〒550-0002 大阪市西区江戸堀1-4-23 撞木橋ビル4階
電話06(6443)0 3 4 5(代)
FAX06(6443)0 3 4 8

支部 関東・中部・中国・四国・九州
<http://www.kenzai.or.jp/>



学校法人 福田学園

OCT 大阪工業技術専門学校
OHSU 大阪保健医療大学
OCR 大阪リハビリテーション専門学校

理事長 福 田 益 和

〒530-0043 大阪市北区天満1-9-27
TEL 06-6352-0093 FAX 06-6352-5995
URL <http://www.fukuda.ac.jp>

1級建築士・2級建築士・1級建築施工管理技士・2級建築施工管理技士
宅地建物取引主任者・インテリアコーディネーター

建築関連資格取得スクール 総合資格学院
(株)総合資格

関西本部 本部長 石川 琢也

〒530-0015 大阪市北区中崎西2-4-43 山本ビル梅田6F
TEL:06-6374-8911 FAX:06-6374-8944

梅田校 TEL:06-6374-1411 新大阪校 TEL:06-6101-1911
京橋校 TEL:06-6882-8211 なんば校 TEL:06-6648-5511
高槻校 TEL:072-686-6711 堺 校 TEL:072-222-9311



3D レンディキュラー

お好みの写真やイラストを
3D 画像に!
飛び出す感や、奥行き感が楽しい
3D 画像が作れます。
1 枚だけのポスターや POP から
DM まで用途もいろいろ。

カラー封筒印刷・バリアブル印刷も
大好評稼働中です!

CHUWA

中和印刷紙器株式会社

〒640-8225 和歌山市久保丁4丁目53
TEL.(073)431-4411 FAX.(073)431-8188

オリジナルグッズや記念品に!

既成のボールペンや、ゴルフボール、スマート
フォンのカバーなどに、フルカラープリント。

ブログ・ツイッターも更新

一企画から印刷までトータルにクリエートしますー

株式会社 日報印刷

代表取締役 井 上 務

〒550-0004 大阪市西区靱本町1-16-7 TEL.(06)6445-6888

大阪ガス株式会社

リビング事業部 大阪リビング営業部

大阪市西区千代崎3丁目南2-37

TEL(06)6586-3241
FAX(06)6586-3259

**環境にやさしい
LED照明を推進しています**

電気設備設計施工

CHOYO 朝陽電気株式会社

〒530-0005 大阪市北区中之島3丁目2-4
TEL 06(6385)1361 FAX 06(6385)1050
<http://www.choyo.co.jp>



ナイスジョイント

ステンレス製=給水・給湯・冷温水配管用管継手

ISO9001
ISO14001
認証取得

オーエヌ工業株式会社

代表取締役社長 中 村 政 弘

■本社・工場 〒708-0015 岡山県津山市神戸466
TEL(0868)28-0171(代) FAX(0868)28-4254



奥平式長尺屋根 壁

奥平工業株式会社
奥平工事株式会社

代表取締役 奥 平 時 子

本社 〒580-0014 大阪府松原市岡7丁目338の1
TEL(072)335-0500

低炭素化の防水仕様で環境へ貢献

■ピロウエルドE新熟工法 ■シグマートE

日新工業株式会社

大阪支店 支店長 嶋田 聡

大阪支店：〒550-0013 大阪府大阪市西区新町1-12-22
TEL 06-6533-3191(代表)

本 社：〒120-0025 東京都足立区千住東2-23-4
TEL 03-3882-2424(代表)

Hyper-MEGA, Hyper-ストレート, HBM工法
NAKS, RODEX工法

日本コンクリート工業株式会社

本 社 〒108-0075 東京都港区港南1丁目8番27号(日新ビル)
基礎事業部 ☎(03)5462-1030 FAX(03)5462-1049
大 阪 支 店 〒541-0059 大阪市中央区博労町4-5-9(本町太平ビル)
☎(06)4963-6911 FAX(06)4963-6916
名古屋支店 〒450-0003 名古屋市中村区名駅南1-11-5(エステート名古屋ビル)
☎(052)581-0666 FAX(052)541-2530
四 国 支 店 〒760-0022 香川県高松市西内町4-6(神原ビル)
☎(087)897-2984 FAX(087)897-2986



エレベーター・ダムウエーター
福祉機器

本社：大阪市西区京町堀1-12-20 TEL：0120-07-0570
<http://www.kumalift.co.jp>



一般社団法人 **大阪電業協会**

会 長 藤 田 訓 彦

大阪市北区西天満5丁目6番10号 富田町パークビル
電話(06)6363-4077(代) ファックス(06)6363-4079

暑中見舞 2012

大阪府建築士会役員

宮崎 八郎

宮崎建築設計事務所
大阪市中央区西心斎橋1-1-11
(心斎橋西ビル8F)

柳川 陽文

株式会社 小河建築設計事務所
大阪市中央区博労町1-7-16
(CSTビル)

改革の断行から社会貢献へ

岡本 森廣

全日本コンサルタント株式会社
大阪市浪速区港町1-4-38

澤本 侃一郎

株式会社 K&S総合企画
大阪市西区京町堀2-2-1
(スマタビル10F)

松村 虔三

浦辺設計
大阪市中央区北浜2-1-26
(北浜松岡ビル4F)

米倉 信太郎

株式会社 ZEN建築構造事務所
大阪市西区南堀江4-17-18
(原田ビル206号室)

広がりのある快適な空間を創ります

上田 茂久

株式会社 上田茂久・建築設計工房
大阪市北区中津1-12-3

安心・安全な住まい環境の創造

西 邦弘

株式会社 キンキ総合設計
大阪市中央区谷町4-5-9
(大阪屋谷町アークビル4F)

濱田 徹

鹿島建設株式会社
大阪市中央区城見2-2-22

「放てば手にみてり」ですね

田中 義久

株式会社 田中都市建築事務所
大阪市中央区本町橋5-14
(OZ本町橋BLD902)

平平安安 深深謝謝

森田 茂夫

アトリエクリオ
神戸市灘区摩耶海岸通1-3-22-601

“フットワークとチームワーク”“デザインと安心”を
両立する建築設計事務所

阿部 弘明

株式会社 空間デザイン
吹田市垂水町3-29-406

美しく時を刻み、風景と調和する建築

徳岡 浩二

株式会社 徳岡設計
大阪市北区西天満6-3-11-205
大阪・東京・兵庫・滋賀・九州

横田 友行

株式会社 能勢建築構造研究所
大阪市中央区瓦町3-3-7
(瓦町KTビル)

爽やかな風通る住まいで心も爽やかに

井上 弓子

住まいの研究室
大阪市北区鶴野町4-11
(朝日プラザ梅田1103)

芳村 隆史

株式会社 碧-AO-建築事務所
大阪市阿倍野区丸山通1-3-44

米井 寛

株式会社 東畑建築事務所
大阪市中央区伏見町4-4-10

暑中見舞 2012

建設会社

竹中工務店

取締役社長 竹中 統一

大阪本店 大阪市中央区本町4-1-13
TEL06(6252)1201
東京本店 東京都江東区新砂1-1-1
TEL03(6810)5000

大成建設
TAISEI

For a Lively World

常務執行役員関西支店長 山田 文啓
http://www.taisei.co.jp/

マンション大規模修繕は 建装工業 へお任せください。

マンション大規模修繕、設備改修、
内装リフォーム等
総合リニューアルの専門企業です。

専門のスタッフが対応させて
いただきます。
お気軽にご相談ください。

〒564-0051 大阪府吹田市豊津町18-38
建装工業株式会社 関西支店 TEL 06-6821-3611

本社：東京 支店：東北、関東、千葉、横浜、中部 営業所：札幌、青森、福島、柏崎、茨城、福岡

建築設計事務所

暑中御見舞申し上げます

宇澤 善一郎

アトリエ・U
和泉市池田下町1699

人、社会、地球環境との共生

岩永 裕人

株式会社 アール・アイ・エー
大阪市北区堂山町1-5
(大阪合同ビル)

金峰 鐘大

株式会社 IAO竹田設計
大阪市西区西本町1-4-1

希望は星に、足は大地に

頼尾 忠治

株式会社 阿波設計事務所
大阪市浪速区元町2-2-12

丸山 利幸

株式会社 石本建築事務所大阪支所
大阪市中央区南本町2-6-12
(サンマリオンNBFタワー)

宮川 明夫

株式会社 総合積算
大阪市北区東天満1-11-19

岡本 慶一

株式会社 日建設計
大阪市中央区高麗橋4-6-2

佐野 正一

株式会社 安井建築設計事務所
大阪市中央区島町2-4-7

INFORMATION

Sponsorship

建築士会からのお知らせ

平成24年度 建築士定期講習

8/9
CPD各6単位〔統括〕

建築士事務所に所属の一般・二級・木造建築士で、平成 21 年度に建築士定期講習を受講した方、及び平成 21 年度以前に建築士試験に合格した建築士の方で建築士定期講習をまだ受講していない方は、平成 24 年度中に当該建築士定期講習を受講することが必要です。

■講習日および講習会場

日程 8月9日(木)
時間 9:30～17:30(受付は9時より)
会場 大阪国際会議場
大阪市北区中之島5-3-51
定員 各600名
■受講申込締切 7月9日(月)消印分
(大阪での申込受付は郵送のみ)
簡易書留郵便でご送付ください。
定員に達し次第、受付を終了
受講料 12,900円(消費税含)
■受講申込先・申込書配布場所
大阪府建築士会事務局
大阪府建築士事務所協会事務局
申込期日まで、営業時間内に随時配布(無料)。
定員になり次第配布も終了。
※申込書はホームページからでもダウンロードできます。
詳細 http://www.abo-osakafu.or.jp/cpd/pdf/20110405.pdf

二級建築士 受験対策講習会

設計製図実力養成講座 7/8～8/25
設計製図模擬テストⅠ、Ⅱ 8/26、9/2

設計製図実力養成講座
(全11回、模擬テスト2回含む)
日程 7月8日(日)、7月15日(日)、
7月21日(土)、7月22日(日)、
7月29日(日)、8月4日(土)、
8月5日(日)、8月19日(日)、
8月25日(土)、8月26日(日)、
9月2日(日)
時間 日曜 9:30～16:30
土曜 13:00～16:30
会場 大阪府建築健保会館
定員 50名(申込先着順)
受講料 建築士会会員・準会員 115,000円
一般125,000円

設計製図模擬テストⅠ、Ⅱ
日程 Ⅰ:8月26日(日)、Ⅱ:9月2日(日)
時間 9:30～16:30
会場 大阪府建築健保会館
定員 各回25名(申込先着順)
受講料 各回とも建築士会会員(準会員)
13,000円 一般15,000円
問合 本会事務局
申込・詳細 http://www.abo-osakafu.or.jp/examination/index2.html

一級建築士 受験対策講習会

設計製図 課題解説+エスキースコース 8/26
設計製図 模擬テストⅠ～Ⅲ 9/22、9/29、10/6

設計製図 課題解説+エスキースコース
日程 8月26日(日)
時間 9:00～12:00 課題解説
13:00～17:00 エスキース
会場 大阪府建築健保会館
定員 40名(申込先着順)
受講料 会員10,000円、一般12,000円
設計製図 模擬テストⅠ～Ⅲ
日程 Ⅰ: 9月22日(土)、Ⅱ:9月29日(土)、
Ⅲ:10月6日(土)
時間 9:00～15:30(製図実習)
16:30～18:30(図面講評)
会場 大阪府建築健保会館
定員 各回40名(申込先着順)
受講料 各回とも会員・準会員 12,000円
一般15,000円

※複数コースセット受講の場合、割引があります。
詳細は本会HP申込ページでご確認下さい。
問合 本会事務局
詳細 http://www.abo-osakafu.or.jp/examination/index.html

平成24年度既存木造住宅の耐震診断・改修講習会《一般診断法講習》

7/19-8/21・9/25-10/23・11/27・12/18
CPD5単位
日程 7月19日(木)、8月21日(火)、
9月25日(火)、10月23日(火)、
11月27日(火)、12月18日(火)
時間 11:00～16:30
会場 大阪YMCA国際文化センター
定員 いずれも200名(先着順かつ希望順
の申込受付・定員になり次第締切)
受講料 会員5,000円 会員外9,000円
テキスト代 7,000円(2012年改訂版木造
住宅の耐震診断と補強方法)

建築士の会 いずみ野

総会+地域学習会
[城下町の町割りや町家について]
7/28 CPD2単位

学習会は岸和田にスポットを当て、城下町の町割りや町家について、郷土史家を講師に招き、講演いただく予定です。
日時 7月28日(土) 14:00～18:00
会場 岸和田市まちづくりの館
募集 30名(申込先着順)
参加費 4,000円(懇親会費含む。学習会のみの場合1,000円)

第32回大阪都市景観建築賞

(愛称 大阪まちなみ賞)推薦募集

あなたの身近にある景観上優れた建物やまちなみをご推薦下さい。
主催 大阪府・大阪市・(社)大阪府建築士会・(社)大阪府建築士事務所協会・(社)日本建

築家協会近畿支部・(社)日本建築協会
賞 大阪府知事賞 大阪市長賞 審査員特別賞 緑化賞 奨励賞
推薦方法 推薦用ハガキに、必要事項(推薦物件の名称、所在地、完成時期、推薦理由、推薦者の氏名、連絡先住所、同電話番号)を記入の上お送り下さい。自薦も可能です。
HP http://osaka-machinami.jp/
対象 大阪府域内の建物及び建物を中心としたまちなみ
建物 平成19月10月1日から昨年7月31日までに完成したもの
まちなみ 昨年7月31日までに完成したもの
※建築基準法に基づく建築確認申請が必要なもの物は、検査済証が発行されていない場合、対象外となります。

受付期間 7月1日(日)～7月31日(火)
(当日消印有効)
入賞発表 平成24年12月頃予定
※推薦用リーフレットを希望の方は、本会事務局までご連絡ください。
25名(申し込み先着順)
問合せ 本会事務局
※参加費には体験材料代を含みます。
※参加証について
◇申込書を参加証とします。当日会場にご持参ください。
◇記載の注意事項を厳守して下さい。

60周年記念事業

第10回神戸ウォーカー

～小野・浄土寺を見る～

8/18 CPD6単位(予定)

今回は今までのウォーカーとは違いバスでの移動になります。少し足の便が悪い場所ですが、貸切バスで問題は解消。国宝の浄土堂は天竺様の堂宇としては国内唯一のもので。他にも重要文化財の八幡神社も拝観します。

日時 8月18日 9:30～受付 10:00出発
集合 大阪梅田近辺(決定次第連絡)
参加費 5,200円(昼食・入場料・バス代・資料代・保険代を含む)

定員 先着50人
行先 キリンビアパーク神戸見学～浄土寺～好古館(旧小野小学校講堂)
コーディネーター 森田茂夫(本会理事)
※昼食はキリンビアパークレストランにて。工場内のピクトープも見学予定。

実践コミュニケーションセミナー

～対話の可視化の方法～

8/26 CPD3単位

若手建築士、建築を学ぶ学生を主な対象に、コミュニケーション能力を向上させるセミナーを行います。
講師には、コミュニケーション研究・教育工学会が専門の牧野由香里教授(関西大学)をお迎えし、ミニ講義とグループワークを通じて、対話を可視化する論理モデル『十字モデル』について、その理論的背景から実践での応用までを、楽しく徹底的に学びます。
①自分の考えをハッキリ伝えられる。
②相手の話がスッキリ理解できる。

対話の可視化には以上2点のほか、様々な利点が考えられます。

日時 8月26日(日) 13:30～17:00
(13:00より受付開始)
場所 大阪府建築士会会議室
参加費 会員1,000円、学生会員500円、一般1,500円

定員 25名(申し込み先着順)
問合せ 本会事務局
※参加費には体験材料代を含みます。
※参加証について
◇申込書を参加証とします。当日会場にご持参ください。
◇記載の注意事項を厳守して下さい。

仮称「尾池和夫氏講演会」

防災の日に地球規模での地震について学ぶ

9/1 CPD2単位

地球規模での地震学に基づいたお話をお聞きし、建築士として何をすべきか、何をしなければならないかを気づく場を設けます。市民の方も貴重なお話を聞くことができると思いますので、多数ご紹介の上、是非お越しください。
日時 9月1日(土) 14:00～16:00
場所 大阪 ユビキタス協創広場CANVAS
大阪市中央区泉町2-2-2
講師 尾池和夫 日本の地震学者
元京都大学総長 理学博士
定員 150名 参加費 500円

すぐに役立つ実践塾オプション

「確認申請のいろ・は」
～JWCADで天空率にトライ～
7/28-8/4 2回連続セミナー
CPD 12単位

3月より3回にわたり、木造2階建てに特化して、基本的な確認申請のながれ、手段について実践セミナーを実施いたしました。参加者の方からのご要望が多かったJWCADの基本操作やJWCADを使って天空率の計算の仕方についての講座を2日間に渡って開催いたします。各自パソコンを実際に操作しながら演習を行います。

第1日目 7月28日(土) 10:00～17:00
JWCADの基本編
第2日目 8月4日(土) 10:00～17:00
CADの応用編～天空率
会場 大阪府立守口高等職業技術専門学校(テクノ守口)
守口市京阪本通2丁目11-18
講師 一級建築士事務所 設計TANAKA
田中克之
募集 25名(申込先着順)
参加費 会員6,000円 会員外8,000円
(2日間の参加費となります)
申込締切 7月12日(木)

建築士のためのお茶会勉強会

7/18・24

建築士の礼儀作法のひとつとして、お茶の作法を学ぶため毎月開催している勉強会です。
日時 7月18日、7月24日
18:30～20:30頃まで
(原則毎月第3水曜日及び第4火曜日)
場所 よみうり天満橋文化センター
費用 年会費6,000円+1回2,500円

7月1日より、このINFORMATIONページの内容が本会ホームページのトップページにも同時掲載しています。それに伴って本会の催し参加申込も、7月17日から本会ホームページでおこなえるシステムが稼働します。詳細は下記の本会ホームページへアクセスしてください。(建築情報委員会)
【大阪府建築士会ホームページ】 http://www.abo-osakafu.or.jp/

本会の催し参加申込方法

FAX・メール・郵送で、催し名、参加者名、会員 No、勤務先、参加証送付先住所、同電話 &FAX 番号(自宅又は勤務先)を明記の上、事務局までお送り下さい。

問合・申込
大阪府建築士会事務局
〒40-0012 大阪市中央区谷町3-1-17
TEL.06-6947-1961 FAX.06-6943-7103
メール info@abo-osakafu.or.jp
HP http://www.abo-osakafu.or.jp/

今年はアジアからヨーロッパに研修の場を移します。イタリアの南部の特徴的な各都市を巡ります。

日程 11月1日深夜発～11月9日帰り
(6泊9日)
行先 ナポリ・ボンペイ・ボジターノ・アマルファイ・レッチェ・アルベロベッロ・マテラ・ローマ等
参加費 10人以上の場合 300,000円
20人以上の場合 240,000円
(全食事・専用バス代・日本からの添乗員・現地ガイド代は含みます。飛行機はエミレーツ航空使用予定。別途燃油サーチャージ・空港諸費用54,000円余必要)
最少催行人員 10名
締切 8月31日(但し場合により早めに締切る可能性あり)
申込 事務局に申込書とパスポートコピーをお送り下さい。
詳細は別紙パンフレット(申込書付)をご覧ください。

大阪府では、既存賃貸住宅の省エネ化・耐震化・バリアフリー化等を行い、賃貸住宅の質を向上させるとともに、事業の拡大と安定を図ろうとする中小企業向けの融資制度を開始しました。
取引金融機関 関西アーバン銀行
融資メニュー 賃貸住宅リフォーム・リノ

平成24年度 通常総会 議事録(要約)

日時：平成24年5月30日(水)
時間：15:30～16:30
会場：ホテル大阪バイタワー
出席：463名(出席133、委任状出席330)
議長：柳川陽文(会長)、岡本森廣(新会長)
議事録署名人：水谷敢、山地康夫
柳川会長あいさつ『平成20年から会長を務め、2期4年で退任させていただくことになりました。昨年度には全国大会「大阪大会」が、東日本大震災のために中止となり、大会の意思を継承して大震災に対応した防災関連事業を行い、義援金等の支援も行いました。また、公益法人移行に向けての諸準備、60周年記念事業の準備等にこのあと付議される新会長とともに準備期間として協調してまいりました。本会財政も好転にまで向かいませんが、その大きな原因は会員数の減少です。公益社団法人を目指す中で、あらためて社会に向けて、また会員に向けて魅力を発揮しなければならないと考えております。』
第1号議案：平成23年度事業報告
常設委員会の活動に伴う事業報告について説明、第1号議案は承認された。
第2号議案：平成23年度財務諸表等
貸借対照表により、負債及び正味財産合計66,268,134円、正味財産増減計算書により、22年度の正味財産は前年度より8,506,609円の資産減の5,372,672円、収支計算書により、事業活動収入計167,447,436円、同支出計171,773,045円、同収支差額4,325,609円、退職手当のための取崩として投資活動収入計10,298,288円、投資活動支出計5,012,787円、

バージョン応援融資
詳細につきましては、下記HPをご覧ください。
大阪府中小企業向け制度融資
「金融機関提案型融資」
http://www.pref.osaka.jp/hodo/index.php?site=fumin&pageld=10442

第26回大阪市ハウジングデザイン賞

大阪市内で建設された魅力ある良質な都市型集合住宅を表彰し、その優れた面を明らかにすることにより、市内に良質な都市型集合住宅の建設を促進するとともに、広く市民の方々や住宅供給に携わる人々の住宅に対する関心を高めていただくことを目的として、大阪市内のすてきな共同住宅・長屋・戸建住宅の集合の推薦を募集します。推薦いただいた方の中から抽選で50名にレインボーカードをプレゼントします。
募集期間 募集中～7月15日(日)

問合 大阪市都市整備局企画部住宅政策課民間住宅助成グループ
Tel.06-6208-9228

徳島すぎの家ウッド通貨モデル事業

徳島県では、今後10年間で「徳島県産木材の消費量」を増進させることを目標とした「とくしま木材利用指針」を策定し、「徳島県産木材の利用拡大」に取り組んでおり、

県外で新築・改築される住宅及び事務所や店舗も対象に、徳島県版住宅エコポイント『ウッド通貨』(最高30ウッド、30万円相当)を提供する『徳島すぎの家ウッド通貨モデル事業』を実施しています。詳しくはHPをご覧ください。
問合 徳島県大阪本部 担当:井村
Tel.06-6251-3273 Fax.06-6251-3380
http://awa-wood.com/

Others

その他のお知らせ

自立循環型住宅設計講習会

準寒冷地版(大阪開催)

主催 (一財)建築環境・省エネルギー機構
日時 9月12日(水) 10:00～18:00
会場 大阪国際会議場1202
大阪市北区中之島5-3-51
講師 自立循環型住宅開発委員会第3フェーズの研究に係わった、国・公共の研究機関・大学の先生の有識者など。
受講料 12,000円(テキスト代含)
定員 80名
問合・申込 (一財)建築環境・省エネルギー機構
Tel.03-3222-6946

であることの主張から、原則として現行定款を内閣府のモデル定款に則して再編成しております。モデル定款に記載されていない事項等については、細則等へ転載することで現行運営方針に大幅な変更が生じないように工夫しております。なお、細部について条文の表現等に変更が生じる場合には、主旨・内容が変更しない限り理事会に一任をお願いします。定款案の主な変更点は、第4条(事業)で現行条文では目的等が漠然としているとの指摘から、変更案では具体的な目的を示すようにしております。さらに、追録資料では将来に向けて公益目的事業を展開する場合に必要なと思われる条文を追加しています。第17条(決議)では、総会の定足数をモデル定款では過半数としています。本会の現体制をみて、緩和される下限値の1/3以上の定足数として案に記載しています。第19条(役員)については、公益社団法人の役員は理事・監事と定めています。したがって、現行の評議員は変更案で役員の規定から除いています。ただし、現行の評議員は名称を変えて理事・監事の候補者を選出する立場に移行するものと考えております。

以上を説明、第7号議案は承認された。
第8号議案：名誉会長委嘱
定款第21条の2の規定に基づき、平成20年度から23年度の2期4年に亘り会長職を努められた柳川前会長を名誉会長に推挙いたします。
以上を説明、第8号議案は承認された。
本日付議された上程全議案が承認された旨を確認し、通常総会を閉会した。

本会通常総会の議案書における「公益社団法人移行及び定款変更案に関するご意見を事務局までお寄せください。」



一般財団法人 大阪建築防災センター 建築確認検査機構

大阪府内の確認・検査は、防災センターで！！

支所ネットワークを生かして、
お客様がご利用しやすい機関

事前審査から確認済証交付までスピードアップ

経験豊富なスタッフによる審査、検査

木造住宅の金物チェック等、安全性の確保に
努めています。

以上をモットーにして、確認審査・検査業務に務めております。
事前審査制度の採用により審査時間の短縮等お客様の要望に応え、安全安心の建物づくり
に職員一同がんばってまいります。
また、府内をカバーする支所網で、地元に着したきめ細かいサービスを提供します。

【業務範囲】

◆ 確認と検査

- ① 高さ 60m 以下の全ての建築物
- ② 工作物及び昇降機その他の建築設備
(ただし、令 138 条第 2 項のうち、第二号及び第三号の遊戯施設を除く)

◆ フラット 35 (適合証明)

証券化事業に係る設計・現場検査 (戸建住宅及び共同住宅・中古住宅)

◆ 住宅瑕疵担保責任保険

保険申込受付及び現場検査 (当財団が建築確認を行ったもの)

【住宅性能評価業務】 一般財団法人 大阪住宅センター分室 (建築確認検査機構同フロア内)
TEL:06-4790-9717 (ダイヤルイン) FAX:06-4794-8272

【本所・支所】

本 所	〒540-0012 大阪市中央区谷町 3-1-17 ジョイント大手前ビル 2 階	TEL 06-4794-8270 FAX 06-4794-8272
中央支所	〒540-0012 大阪市中央区谷町 3-1-17 ジョイント大手前ビル 2 階	TEL 06-4794-8270 FAX 06-4794-8272
枚方支所	〒573-0027 枚方市大垣内町 2-5-7 宮村第 2 ビル 5 階	TEL 072-861-5088 FAX 072-861-5089
岸和田支所	〒596-0054 岸和田市宮本町 27-1 泉州ビル 3 階	TEL 072-429-3660 FAX 072-429-3661
八尾支所	〒581-0003 八尾市本町 1-4-1 YLB タニムビル 3 階	TEL 072-998-0530 FAX 072-998-0882
堺支所	〒590-0079 堺市堺区新町 3-7 STC ビル 4 階	TEL 072-238-8282 FAX 072-238-8281

【業務時間・休日】

本所・支所 9:00~12:00 13:00~17:00 (受付は 16:00 まで) (土曜、日曜、祝日、年末年始等は休み)

【事前相談】

事前相談をお受けしております。建築を計画
されるときはお気軽にご相談ください。
また、ご意見・ご相談などは E-mail:
kiko@okbc.or.jp でもお受けしております。

ホームページアドレス
http://www.okbc.or.jp

親切

迅速

确实

丁寧

平成二十四年六月度 理事会 議事録

日時 六月十三日(水) 十六時~十七時三十分

場所 本会会議室

出席 理事四名(委任六名各)、監事二名

名誉会長、顧問、相談役他七名

【審議事項】

(一) 会計報告

会費収入が減収傾向が続く状況において、
会員増強はもとより、活動事業の活性化を
図ることが重要課題である。

木造住宅の耐震診断改修講習の一般診断法
の改訂による講習拡大は見込まれている
が、定期講習の受講料引下げおよびリビ
ター受講者の減、受験講習会の学科廃止な
ど減収に繋がる要素は多い。講習企画に際
しては、多くの建築士が興味を抱く斬新な
内容を期待するものである。

(二) 建築情報委員会からの提案

H P のトップページを刷新して、システ
ム的な老朽化の解消および機能性の向上を
図る。メールマガジンを廃止し、新設する
Facebook と連動刷新する。M M の廃止は
七月に数回広報する。

H P 刷新とともにイベント予約システムを
連携させて、一層事業等に申込みやすく工
夫する。

「建築人」インフォメーション欄の廃止
案は、会員等に向けての重要項目であるこ
とから認められないとした。

(三) 応急危険度判定連絡網の構築案

登録判定者八六九名 (h 二二) を対象とし
た連絡網のベースは地域サークルを基盤
に構築する。連絡網の構築にあたり、当初
予算はこれまでの地域への助成金四十万円
(五万円×八地域) を充当する提案があった。

建築相談

建築士の見たトラブル事例 (一)

建物を手に入れるということ

橋本頼幸

「建築相談」コーナーは、今月から建築相談室
で受けた相談内容や相談員が感じたことなどを
会員の建築士の皆さんに知ってもらい、業務に役
立ててもらおうという趣旨で新しくしました。建
築相談員が順番に話題提供します。第一回は津
村泰夫さんに話題提供いただきました。

建築基準法の厳格化や瑕疵担保保険などの
法整備により「欠陥住宅が無くなった」というわ
けではなさそうです。欠陥住宅とまではいえな
いがトラブルになっている、という相談が目立つよう
になってきています。

最近続いた相談に「注文住宅」「自由設計」な
どを広告し、「建築条件付き」として販売されて
いる物件にまつわるものがあります。建築条件付
きとはいえ現実の自身は建て売り住宅に多少の
間取り変更やフローリング・クロスなどのわずかな
選択の自由度を加えた程度の販売方法です。し
かし、それは売り手の目線であって、買い手はあく
までも「注文住宅」「請負工事」という認識で
あることがトラブルの原因となっています。打合
せといつても、簡単な平面図が中心で、建築士か
どうか不明な営業マンと間取りの打ち合わせを
するだけです。

発注者の多くは、建売契約(売買)と注文契約
(請負)の違いもわからず、土地の売買契約と同
時に建物の請負契約を行います。確認申請が終
わった頃に「建売」にするために、土地・建物の売
買契約に差し替えられているケースが多く見ら
れます。仲介業者の中には、本来手数料となら
ない建物の請負代金に対しても仲介手数料分
を請求する業者もいます。

請負契約であれば、契約書に基づいて契約と
異なった建物に対して補修を求めることができま
すが、売買契約であれば「できあがった建物」が
取引対象なのでそもそも図面と異なるというた
問題は原理上発生せず、そのトラブルを避けるた
めにも契約書には間取り程度の図面しか添付さ
れません。建築主は売り主であって購入者ではな
いので売り主にとって好き勝手に作ることができ
ます。現実には好き勝手というよりも、購入者の
顔色を見ながらやるやらないを決めるといふ風
潮もあります。その実態に大差はありません。

床暖や浴室乾燥機などを標準仕様として高
級感を出し、建材を主要大手メーカー製で安心
感を売っています。しかしその実は、建て売り用と
して安価に供給しているのと同じです。平面計
画も九〇〇ミリピッチで階段は急で、ゆとりのあ
る間取りではありません。見栄えを優先し、対
面キッチンで壁を作らず、吊り戸棚を天井から
直接吊り、その重みで下がってきたというクレーム
もありました。

平面図だけでは説明できない箇所も多く、断
面図や展開図などで購入者に確認したり施工
者が事前に検討したりすることはなく、実際に
出てきたからわかる不具合も多くあります。しか
し、購入者はその状況を見て初めて不具合に気
づきトラブルとなります。建て売りのままだとそ
もそもトラブルにならないかたつたものを、見せかけの
「注文」としたばかりにこういったトラブルが発生
しています。

「住宅はクレーム産業」とは使い古された言葉
ですが、本来避けられるクレームもたくさんあり
ます。最近では特にこういった避けられたはずのク
レームやトラブルが増えていくように感じます。
建築技術者である建築士としての役割がもう一
度見直されるのではないのでしょうか？

編集後記

筑波幸一郎・牧野高尚・荒木公樹

四月号のリニューアルから今号まで、四
号にわたる「建築人」いかがでしたでしょ
うか。本会及び印刷会社(中和印刷)の多
大なサポートのもと、毎号編集人たちが手
づくりのように丁寧な取材・議論・執筆・
編集作業を積み重ねています。壁にぶつか
りながらも、読者の皆さんへわれわれ建築
人として興味を持つことを、楽しみながら
伝えていくことをこころがけています。イ
ンタビューや取材・編集・撮影をはじめと
する雑誌づくりに興味のある方は、是非参
加をお願いします。「建築人」の将来を担
う人材を募っています。

「建築人(けんちくびと)」で特集してい
る安原三郎さんは、石井修先生の重要な作
品に関わられ、独立後も住宅・店舗等が貴
重かつ多大な実績を残されてきた建築家だ
す。今号では関西大学の木下光先生の協力
を得て取材を進めました。安原さんの密度
の濃い丁寧な仕事と人柄に接することがで
き、われわれにとって貴重な経験となった
ことに感謝します。



安原三郎氏(左端)へのインタビュー風景



秦町の薨 安原三郎

緩やかな坂道の先に石垣や水路があって、その上には蔵や納屋、そして長屋門と塀に囲われた「囲い造」と呼ばれる屋敷が残る。その風情ある一角にこの家がある。今回は主屋の建替え、そして蔵等の改修である。

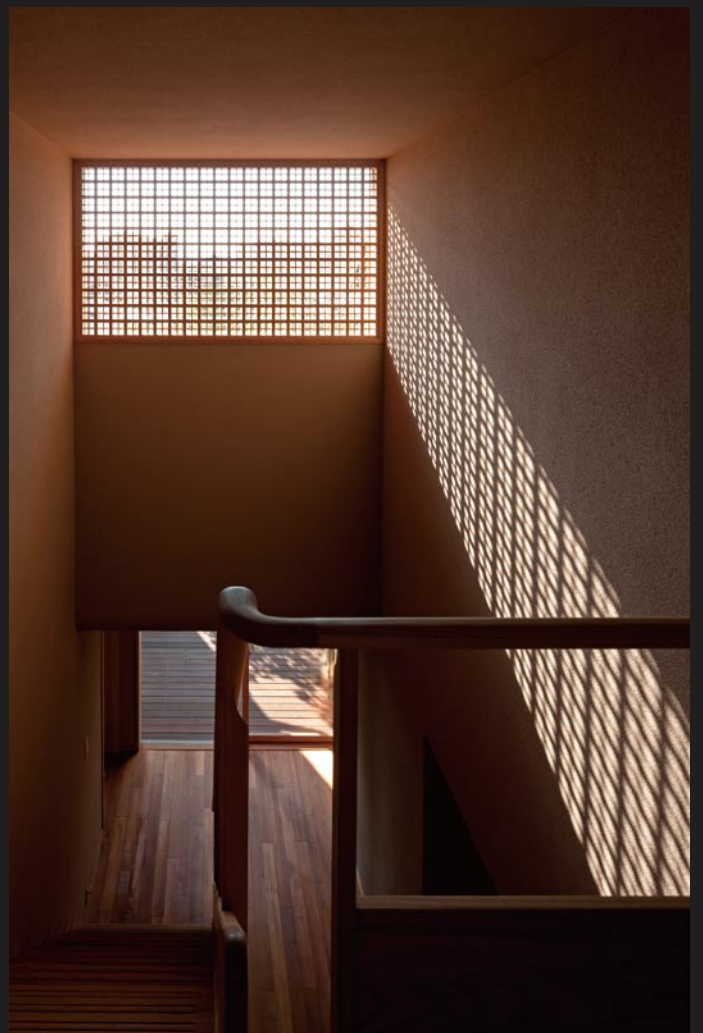
この家は平屋の南棟と北棟に分かれ、それを跨ぐように一部二階がのびていて、全体は三つの棟で構成されている。これは一階の各室が全て庭に面すること、そして分棟とすることで外観のヴォリュームを抑え、近隣に対して威圧感を与えないようにという思いからである。

南棟の西部分は柿の木を避けるため、への字状に折り曲げている。その結果、居間や寝室は南の庭を取り囲む形となった。この南面の開口部は庭との一体化を図るため、欄間にガラスを入れ、内部の傾斜天井を外部へと続けた。また、欄間や柱は鉄骨を用いて細く見せ、庭とのつながりを強調している。

この家の夫人はエアコンに頼らず、自然体で生活されていて、この家での要望も通風の良い家、そして断熱性・耐久性の高い家というもののみであった。瓦屋根の深い軒、通風を考慮した開口部、そして木陰をつくる多くの庭を設えることでそれに応えている。

素材は耐久性のある栗やクルミ材等を適材適所に使い、年月を刻むことで色艶、表情を湛え、光によって陰影を醸し出す空間を求めた。そして三つの棟の屋根を全て瓦で葺くことで近隣の瓦屋根とともに美しい薨の波を形成し、この場の風景としての家をつくり出そうと思った。

撮影：松村芳治



■プロフィール

1946年 京都府生まれ
1964年 京都市立伏見工業高校卒業
1967年 独学(古建築を巡る)
1969年 美建・設計事務所
1975年 安原三郎建築設計事務所設立
2009年～ 京都造形芸術大学非常勤講師

■建物データ

設 計：安原三郎建築設計事務所
安原三郎・秋田諭
施 工：田中工務店
武生隆雄・橋本静夫
所在地：大阪府寝屋川市
竣 工：2011年